

## 第2章

### アニメ・マンガの観光活用の概況



## 第2章 アニメ・マンガの観光活用の概況

ここでは、日本国内においてアニメやマンガに関連する要素が観光面でどのように活用されてきたか、事例調査の結果を中心に取りまとめる。

### 2 - 1 . アニメ・マンガを活用した集客施設等の概況

アニメ・マンガをテーマとしたミュージアム、その他アニメ・マンガも扱うミュージアムを取り上げる。

#### (1) アニメ・マンガに特化したミュージアム系施設

アニメ・マンガをテーマとして扱うミュージアム系の施設としては、大きく2つのパターンに分類できる。

特定の作品や作家にこだわらずアニメ・マンガを紹介する施設

特定の作品や作家をテーマに紹介する施設

大多数の施設は、作家の出身地であったり、幼少期や青年期を過ごした土地など、作家との関係性が深い地域に立地している。従って、自ずとその作家、あるいは作品に関連する展示がその施設構成の中心となっている。プロダクション等の著作権者の協力のもと、自治体などが施設を設置・運営するケースがほとんどである。

主要な集客施設に対して、FAXによるアンケートを実施した結果を以下に示す。アンケート調査の概要は次のとおりである。

調査対象：国内のアニメ・マンガをテーマとしたミュージアム系施設24件

調査方法：FAXによる調査票の配布・回収

調査時期：平成19年1月

調査項目：海外客への対応状況、地域との連携状況、関連施設や業界との連携状況 など

この結果から、以下のことが明らかとなっている。

- (1) 多くの施設において、近隣圏からの利用が大半を占める。
- (2) 海外からの問い合わせは現状ではまだ少数で、海外客への対応も十分ではない。
- (3) 施設周辺地域との連携に関しても、一部のケースに限られている。
- (4) 関連施設相互の連携に関しては、パンフレット類の配布等が行われている。

図表 2 - 1 主要なアニメ・マンガミュージアムに対するアンケート調査結果

施設	所在地	開業	設置主体	管理運営主体	施設内容	利用状況	旅行商品等への組み込み状況	海外からの問い合わせ状況	地域連携の状況	関連施設や業界との連携状況
上湧別町 漫画美術館	北海道 紋別郡上湧別町	平成5年4月27日	上湧別町	上湧別町	A 幅広く紹介する展示 B 特定の作品に関する展示 C 特定の作家に関する展示 D 特定の年代に関する展示 E 体験型展示 F 関連商品販売 G その他 A あり B ルパン3世、サザエさん C モンキーパンチ、牧野圭一、長谷川町子 D あり E ない F ない G オポーツの国際漫画本賞 (H9～12年間) 入選作品展示	【総利用者数】(単位:人) 平成13年:4,478 平成14年:4,178 平成15年:1,809 平成16年:1,557 平成17年:1,033 【海外利用者数】 平成13年:1,070 平成14年:538 平成15年:197 平成16年:201 平成17年:201 【海外利用者数】 平成13年:7 平成14年:0 平成15年:6 平成16年:0 平成17年:0	なし	なし	なし	
横手市 増田まんが美術館	秋田県 横手市	平成7年10月21日	横手市	横手市	A あり B 釣りキチ三平など矢口高雄氏作品 C 矢口高雄氏 D あり E ない F あり G 国内外約100名の作家のマンガ原画 300点を展示	【総利用者数】(単位:人) 平成13年:114,102 平成14年:109,832 平成15年:88,103 平成16年:45,160 平成17年:44,022	なし	なし	A 特別企画展開催時に上涌原さむらひ(石ノ森章太郎)とふるさと記念館(仮面ライダ)の巡回展(平成12年) B 横手市に無料入場券発行(費用はさむらひが6割負担) C マンガ作成講座(現在は休止中)	
石ノ森漫画館	宮城県 石巻市	平成18年7月23日	石巻市	横街づくりまんぼう	A あり B 石ノ森章太郎作品 C 石ノ森章太郎 D あり E あり F あり G 国内外約100名の作家のマンガ原画 300点を展示	【総利用者数】(単位:人) 平成13年:252,098 平成14年:264,067 平成15年:240,726 平成16年:198,481 平成17年:163,359 【海外利用者数】 平成13年:10 平成14年:10 平成15年:10 平成16年:10 平成17年:10 総利用者の約40%	なし	なし	A サンファン館と20%offの共通チケット発行(期間限定) B 来館時の創作体験メニュー C 当館は教育委員会が所管する生涯学習施設	
石ノ森章太郎 ふるさと記念館	宮城県 登米市	平成12年7月20日	旧中田町 (現登米市)	登米市	A あり B 009、仮面ライダー(石ノ森作品、原画等) C 石ノ森章太郎 D ない E ない F あり	【総利用者数】(単位:人) 平成13年:40,773 平成14年:44,617 平成15年:26,572 平成16年:23,182 平成17年:28,254	①10月 宇都宮一石ノ森章太郎ふるさと記念館(宮城野三陸) ②9月 山形市一石ノ森ふるさと記念館(宮城野三陸) ③ホテル観光(登米市)・ホテル観光	●利用回数:100人程度 ●主たる国: ●来館言語: ●来館者記:英語 ●ハシゴト:英語	D 当館は教育委員会が所管する生涯学習施設 E 石ノ森章太郎ふるさと記念館(仮面ライダー)創始者(石ノ森章太郎)の没後10周年記念展(平成12年)を開催し、石ノ森章太郎の没後10周年記念展を開催し、夏休み、小学館との特別企画展を開催し、協賛を得る。	
富永一朗 はなわ漫画館	福島県 白河郡塙町	平成5年5月12日	塙町	塙町	A あり B 富永一朗先生の原画 C 富永一朗先生 D ない E ない F あり	【総利用者数】(単位:人) 平成13年:1,204 平成14年:1,489 平成15年:1,531 平成16年:1,584 平成17年:1,152 【海外利用者数】 平成13年:578 平成14年:771 平成15年:635 平成16年:635 平成17年:528 【海外利用者数】 平成13年:3 平成14年:5 平成15年:19 平成16年:10 平成17年:8	なし	なし	D 富永一朗漫画ギャラリー	

施設	所在地	開業	設置主体	管理運営主体	施設内容	利用状況	旅行商品等への組み込み状況	海外からの問い合わせ状況	地域連携の状況	関連施設や業界との連携状況
富永一朗 あづま漫画館	群馬県 吾妻郡吾妻町	平成7年10月	東吾妻町	東吾妻町	A幅広い紹介する展示 B特定の作家に関する展示 C特定の作家に関する展示 D制作過程に関する展示 E作家の生い立ち F関連商品販売 Gその他	概算なし	なし	なし	なし	A他施設との巡回展等の開催 B共同プロジェクトの実施 Cその他 D来客の協力 E制作関係者 Fその他
さいたま市立 漫画会館	埼玉県 さいたま市	昭和41年11月1日 (設置当時は大 営市)	さいたま市 (設置当時は大 営市)	さいたま市	Aある Bない Cある Dある Eある Fある Gある Hある Iある Jある Kある Lある Mある Nある Oある Pある Qある Rある Sある Tある Uある Vある Wある Xある Yある Zある	【総利用者数】(単位:人) 平成18年:25,431 平成14年:26,349 平成19年:23,997 平成16年:24,813 平成17年:26,934	なし	●系内表記:英語 ●ハングル:英語	なし	なし
三鷹の森 ジブリ美術館	東京都 三鷹市	平成13年10月1日	株式会社 株式会社	株式会社 株式会社	Aある Bある Cある Dある Eある Fある Gある Hある Iある Jある Kある Lある Mある Nある Oある Pある Qある Rある Sある Tある Uある Vある Wある Xある Yある Zある	【総利用者数】(単位:人) 平成18年(10-3 月):342,869 平成17年:607,073 平成16年:693,984 平成15年:663,584 平成14年:623,955 平成13年(1-3月のみ):747 平成18年:10,700 平成14年:28,556 平成15年:28,556 平成16年:37,780 平成17年:50,281 平成18年:50,281	なし	●主たる国:韓国、アメリカ、台湾、香港、韓国、アメリカ ●利用頻度:50,000人程度 ●系内表記:英語 ●ハングル:英語 ●HP:英語 (サカイブジブリ美術館) ●お問い合わせ:韓国に代理店 ●お問い合わせ:問い合わせを受け付けている	B三鷹市内のイベント行事などに参加し、可能なものについてはブースを制作し、期間限定の展示、美術品の市長賞状の頒布 C三鷹市内の小学校、幼稚園、保育園を先駆けて企画展示を行い、A、B、D、Eの原画や映像を展示	B「三鷹の森ジブリ美術館」にて、「森のめぐみ」(劇場公開)川王と鳩(DVD)を他介
長谷川町子美術館	東京都 世田谷区	昭和60年11月3日			Aある Bある Cある Dある Eある Fある Gある Hある Iある Jある Kある Lある Mある Nある Oある Pある Qある Rある Sある Tある Uある Vある Wある Xある Yある Zある	(単位:人) 平成16年:49,384 平成17年:54,092	なし	●利用頻度:100人程度	B 商店街発行の子リーカードのポイントがたまると、入館料として使用できる	D「ジブリ」の制作会社エディンが、夏の「アニメサマソン展」に協力
杉並アニメーション ミュージアム	東京都 杉並区	平成17年9月5日	杉並区	日本動画協会	Aある Bある Cある Dある Eある Fある Gある Hある Iある Jある Kある Lある Mある Nある Oある Pある Qある Rある Sある Tある Uある Vある Wある Xある Yある Zある	(単位:人) 平成16年:約1万人 平成17年:約4万人	なし	●主たる国:中国、韓国、アメリカ、イギリス ●ハングル:英語	C「不思議の国のアリス」を基にしたアニメーション制作 D 日本動画協会委員 E 日本動画協会委員、映画配給会社	D 日本動画協会委員 E 日本動画協会委員、映画配給会社
東映 アニメーション ギャラリー	東京都 練馬区	平成15年3月29日		東映 アニメーション 株式会社	Aある Bある Cある Dある Eある Fある Gある Hある Iある Jある Kある Lある Mある Nある Oある Pある Qある Rある Sある Tある Uある Vある Wある Xある Yある Zある	入場者数のカウントはして いない。 平日20~30人 休日は40~50人 多いときは70人超	なし	●主たる国:中国、韓国、フランス、アメリカ、その他 ※100年1/15~3/18(18日)期間限定で、団体予約なしの団体がある。	A 無料のたのみに、多岐アニメーション、ミュージアム、東京アニメセンター、レイアウト、映画館等のパンフレットやポスターは置いてある。 B 練馬アニメーションフェスティバル、大泉等で開催している。 C 手づくりアニメ教室等やりたいと聞いているが、出来ていない。アニメフェスティバルの一環として取り組んだことはある。	A 40周年記念アニメ展、美術展協賛 D 1999年3/20~4/4期間限定で「アニメーションワークス」開催 E 新作映画情報コーナーを設けている
赤塚不二夫会館	東京都 青梅市	平成15年10月18日	住江町商店街 振興組合	住江町商店街 振興組合	Aある Bある Cある Dある Eある Fある Gある Hある Iある Jある Kある Lある Mある Nある Oある Pある Qある Rある Sある Tある Uある Vある Wある Xある Yある Zある	(単位:人) 平成16年:13,870 平成18年:23,732 平成17年:26,886	●H16:かんぽの宿青梅宿泊プラン ●H17-18:JRハングルに割引クーポン掲載	A かんぽの宿青梅・橋本間(小澤温泉・OZAM-JR青梅駅(団体割引にて)) B 割引チケットの配布、イベント開催	A H17.10:田村水浴の森の館とのジョイントイベント D 小笠原「赤塚不二夫漫画大全集」展示販売受付	

施設	所在地	開業	設置主体	管理運営主体	施設内容	利用状況	旅行商品等への組み込み状況	海外からの問い合わせ状況	地域連携の状況	関連施設や業界との連携状況
川崎市民ミュージアム	神奈川県川崎市	昭和63年11月	川崎市	川崎市 (学芸業務については財団法人文化財団に委託)	A 幅広い紹介する展示品に関する展示 B 特定の作品に関する展示 C 制作過程に関する展示 D 複製品に関する展示 E 複製品のみ F 関連商品販売 G その他 A あり B ない C ない D ない E あり F あり G 複製品は行わず、企画展の内容により、作品・作家の紹介も行う	(単位:人) 平成13年:87,814 平成14年:85,429 平成15年:103,511 平成16年:139,614 平成17年:160,228		●問い合わせ件数:資料の問い合わせ ●利用頻度:20人程度 ●利用国:英語・韓国語	A 周辺施設 B 周辺商店街 C その他 D その他	A 地域と巡回展等の開催 B 共同イベントの開催 C その他 D 産業界の協力 E 新卒公開イベント F その他
富永一朗とが漫画館	富山県南砺市	平成6年4月	南砺市	財団法人 利興ふるさと財団	A ない B ない C 富永一朗 D ない E ない F あり G 複製品は行わず、企画展の内容により、作品・作家の紹介も行う	(単位:人) 平成13年:6,613 平成14年:4,391 平成15年:4,247 平成16年:3,296 平成17年:2,893		●問い合わせ件数:資料の問い合わせ ●利用頻度:20人程度 ●利用国:英語・韓国語	A 周辺施設 B 周辺商店街 C その他 D その他	A 地域と巡回展等の開催 B 共同イベントの開催 C その他 D 産業界の協力 E 新卒公開イベント F その他
修善寺虹の郷 富永一朗 忍者漫画館	静岡県伊豆市	平成3年8月25日	伊豆市	財団法人 伊豆市 振興公社	A ない B 日本漫画協会賞受賞作品「朝霧春舟」の原画 C 富永一朗 D ない E ない F ポストカード等	(単位:人) 平成13年:409,996 平成14年:375,807 平成15年:345,277 平成16年:291,516 平成17年:273,490 (虹の郷の入園者数、そのうち5割程度は漫画館に利用)		●問い合わせ件数:資料の問い合わせ ●利用頻度:20人程度 ●利用国:英語・韓国語	A 周辺施設 B 周辺商店街 C その他 D その他	A 地域と巡回展等の開催 B 共同イベントの開催 C その他 D 産業界の協力 E 新卒公開イベント F その他
かみやま美術館 富永一朗漫画館	三重県亀山市	平成6年7月20日		株式会社 安土	A あり B 富永一朗 C ない D ない E ない F あり G 複製品は行わず、企画展の内容により、作品・作家の紹介も行う	(単位:人) 平成13年:24,763 平成14年:18,065 平成15年:10,293 平成16年:6,838 平成17年:4,859		●問い合わせ件数:資料の問い合わせ ●利用頻度:50人程度 ●利用国:英語・韓国語	A 周辺施設 B 周辺商店街 C その他 D その他	A 地域と巡回展等の開催 B 共同イベントの開催 C その他 D 産業界の協力 E 新卒公開イベント F その他
京都国際マンガミュージアム	京都府京都市	平成18年11月25日	京都市・京都精華大学	京都精華大学	A あり(特別展・企画展で扱う場合あり) B ない(特別展・企画展で扱う場合あり) C 手塚治虫(他の作品)に関する展示 D あり E ない F あり G 複製品は行わず、企画展の内容により、作品・作家の紹介も行う	(総利用者数)(単位:人) 平成13年:150,681 平成14年:185,290 平成15年:247,474 平成16年:401,871 平成17年:103,668		●問い合わせ件数:資料の問い合わせ ●利用頻度:20人程度 ●利用国:英語・韓国語	A 周辺施設 B 周辺商店街 C その他 D その他	A 地域と巡回展等の開催 B 共同イベントの開催 C その他 D 産業界の協力 E 新卒公開イベント F その他
宝塚市立手塚治虫記念館	兵庫県宝塚市	平成6年4月25日	宝塚市	宝塚市 産業活力部 産業活力室 国際交流課 手塚治虫記念館	A あり B 手塚治虫作品(他の作品)に関する展示 C 手塚治虫(他の作品)に関する展示 D あり E ない F あり G 複製品は行わず、企画展の内容により、作品・作家の紹介も行う	(総利用者数)(単位:人) 平成13年:29,476 平成14年:29,559 平成15年:21,010 平成16年:24,371 平成17年:22,703 (総利用者数) 平成13年:約40人/月 平成14年:約40人/月 平成15年:約40人/月 平成16年:約40人/月 平成17年:約40人/月		●問い合わせ件数:資料の問い合わせ ●利用頻度:20人程度 ●利用国:英語・韓国語	A 周辺施設 B 周辺商店街 C その他 D その他	A 地域と巡回展等の開催 B 共同イベントの開催 C その他 D 産業界の協力 E 新卒公開イベント F その他
いらしゆみこ美術館	岡山県倉敷市	平成12年5月1日		株式会社 明日絵	A あり B いらしゆみこ作品(例:「メイミー・エッセイ」) C いらしゆみこ作品(例:「メイミー・エッセイ」) D あり E ない F あり G 複製品は行わず、企画展の内容により、作品・作家の紹介も行う	(総利用者数)(単位:人) 平成13年:29,476 平成14年:29,559 平成15年:21,010 平成16年:24,371 平成17年:22,703 (総利用者数) 平成13年:約40人/月 平成14年:約40人/月 平成15年:約40人/月 平成16年:約40人/月 平成17年:約40人/月		●問い合わせ件数:資料の問い合わせ ●利用頻度:20人程度 ●利用国:英語・韓国語	A 周辺施設 B 周辺商店街 C その他 D その他	A 地域と巡回展等の開催 B 共同イベントの開催 C その他 D 産業界の協力 E 新卒公開イベント F その他

開業	設置主体	管理運営主体	施設内容	利用状況	旅行商品等への組み込み状況	海外からの問い合わせ状況	地域連携の状況	関連施設や業界との連携状況
平成6年4月29日	高梁市	高梁市 教育委員会	A:幅広く紹介する展示 B:特定の作品に関する展示 C:特定の作家に関する展示 D:製作過程に関する展示 E:体験ワークショップ F:関連商品販売 G:その他	【総利用者数】(単位:人) 平成13年:30,481 平成14年:26,995 平成15年:23,640 平成16年:20,222 平成17年:17,932	なし	なし	A:周辺施設 B:周辺商店街 C:学校 D:その他	A:施設との巡回展等の開催 B:共同ワークショップの開催 C:その他 D:業界界の協力 E:新作公開キャンペーン F:その他
平成15年3月8日	境港市	境港市	A:ある B:多数 C:水木しげる D:ない E:ない F:ない G:マンガ家水木しげるの人となりや描き下げるやすさやアバターをマンガでわかりやすく解説しており子供から年配の方まで楽しんでもらえる施設。	【総利用者数】(単位:人) 平成15年:203,060 平成16年:168,774 平成17年:191,581 【県外利用者数】 平成15年:180,000 平成16年:152,000 平成17年:172,000	なし	●問い合わせ:10件程度	A:岡山県観光連盟主催のキャンペーン割引特典 B:当館実施の漫画コンテスト応募作の町内商店街周遊展示 D:市内小・中学生対象に土・日・祝・休業日無料入館	A:国際交流基金主催のアジア漫画展の巡回展示 C:全国の富永一朗は漫画師との協議会設置、サミット事業開催
平成14年4月7日	高知市	高知市文化振興 事業財団	A:ある B:フクちゃん C:横山隆一 D:ある E:フクちゃんのお絵かき教室 F:ある	【総利用者数】(単位:人) 平成14年:78,457 平成15年:67,799 平成16年:66,952 平成17年:61,905	●高橋フレンドツアー (H18年2月~4月) ●大川ハッピーツアー (H18年7月)	●問い合わせ:英語	B:こちまさんがフェスティバルの共同開催 C:まんが体験イベント、まんが教室	A:GLAMP展:H17年7月~9月 D:小学校・書籍社等出版社・各企画展における資料・情報提供
平成8年7月21日	香美市	財団法人 アンバマンコミュニ シヤム 振興財団	A:ある B:ある C:ある D:ある E:ない F:ある	【総利用者数】(単位:人) 平成13年:193,712 平成14年:202,030 平成15年:206,054 平成16年:183,162 平成17年:176,849	なし	なし	なし	D:グッズサンプルの提供(日本テレビ音楽) E:特になし(映画上映のポスター掲示くらい)
平成元年 (現在の施設は 平成13年)	佐伯市	佐伯市	A:ない B:ない C:富永一朗 D:ない E:ない F:ない	統計なし	なし	なし	なし	なし

## (2) 総合ミュージアム系施設

アニメ・マンガに特化したミュージアム以外にも、企画展示等でアニメ・マンガを扱うケースは多い。2007年1月にオープンした国立新美術館の開館イベントとなった「文化庁メディア芸術祭10周年企画展『日本の表現力』」や、2005年7月のサントリーミュージアム[天保山]を皮切りに国内6ヶ所で開催された企画展示「ガンダム 来るべき未来のために」などがこのケースに相当する。

アニメ・マンガに特化した施設と比較して施設規模が大きく立地面でも恵まれている例が多いこと、展示内容が幅広く一般の客層に対しても親しまれやすいという施設の性格など勘案すると、このような施設が定期的にアニメ・マンガに関する企画展示等を通じて情報発信を行えば、ファン以外の一般的な客層に対してもアニメ・マンガの魅力をアピールする拠点の一つとなる可能性も考えられる。

### <参考事例>

#### 国立新美術館

##### 概要

- ・ 開館：2007年1月21日
- ・ 設置主体：文化庁国立新美術館設立準備室、独立行政法人国立美術館
- ・ 所在地：東京都港区六本木の東京大学生産技術研究所跡地

##### 設立の経緯

- ・ 従来は公募展のために東京都美術館を使用してきた日展ほかさまざまな美術団体（公募団体）の間で、作品出展数に比して展示できる面積の狭い東京都美術館に対する不満と、新たな展示スペースへの要望が高まった。各団体や美術家等が文化庁や議員などに働きかけた結果、1995年から協議が始まり、翌年基本計画が立案された。
- ・ 当初はナショナル・ギャラリー（仮称）と呼ばれ、活動内容は複数の公募展の同時並行開催と、新聞社などの主催の大規模企画展のための会場貸しとされ、美術品コレクションや学芸員は置かない方針だった。
- ・ ただし、全館貸し館で収蔵品を持たず、ワシントンやロンドンのナショナル・ギャラリーとはまったく存在の意味合いが違う施設になるため、「ナショナル・ギャラリー」という名称がそぐわなくなり、「国立新美術館」となった。また、外国から美術品を借りる際に、受け入れる学芸員が必要なことや、独自の展覧会も開催すべきだとの指摘を受け、数名の学芸員を置くこととなった。
- ・ 企画展・公募展中心の「箱だけの美術館」、特色がない、情報発信能力がないという批判に対し、文化庁はアニメ業界や日本動画協会などを巻き込み、この美術館をアニメーションの保存・研究・上映・関連展覧会の拠点とする構想を打ち出している。
- ・ 開館直後の企画展として、開館記念展「20世紀美術探検」(2007年3月19日まで)、文化庁メディア芸術祭10周年企画展「日本の表現力」(2007年2月4日まで)、「黒川紀章展」(2007年3月19日まで)を開催。



#### 活動方針

内外から人やモノ、情報が集まる国際都市、東京に立地する美術館として、「美術」を介して人々がさまざまな価値観に触れる機会を提供し、相互理解と共生の視点に立った新しい文化の創造に寄与する。

#### 事業内容

##### (1) 展覧会事業

- ・ 全国的な活動を行っている美術団体等に発表の場を提供
- ・ 国内外の新しい美術の動向に焦点をあてた自主企画展を開催
- ・ 新聞社や他の美術館との共催による展覧会を開催

##### (2) 情報収集・提供事業

- ・ 国内の展覧会に関する情報を収集・提供
- ・ 戦後の国内の展覧会カタログを網羅的に収集・公開
- ・ 日本の近代以降の美術に関するさまざまな資料を収集・公開

##### (3) 教育普及事業

- ・ 展覧会にあわせた講演会やシンポジウム、ギャラリートークの実施
- ・ 作家トークやワークショップにより、アートを楽しみ、アートについて語りあうための場を提供
- ・ インターンシップやボランティア・プログラムを通じ、美術館における実践的な活動の場を提供
- ・ 美術館の教育普及事業に関する資料の収集

資料：国立新美術館HP <http://www.nact.jp/>

#### 東京都写真美術館

##### 概要

- ・ 開館：1995年1月21日
- ・ 設置主体：東京都、財団法人東京都歴史文化財団（運営）
- ・ 所在地：東京都目黒区三田一丁目13番3号 恵比寿ガーデンプレイス内

##### 設立の経緯

- ・ 1986年、第二次東京都長期計画の中で「写真文化施設の設置」が発表され、翌年、東京都映像文化施設設置委員会が設置される。1988年には、東京都映像文化施設作品資料収集・評価委員会が置かれた。
- ・ 1989年には、東京都映像文化施設（仮称）基本構想の発表の後、東京都写真美術館設置企画委員会、同作品資料収集・評価委員会が設置され、写真美術館開館への作業が進められた。
- ・ 1990年、日本初の写真と映像に関する総合美術館として、恵比寿に一次施設が開館した、1995年に現在の場所に移転後、東京都写真美術館として総合開館し、今日に至っている。
- ・ 展示施設、ホール、図書室、ミュージアムショップ、喫茶室などで構成され、展示施設は2,3階および地下1階の3箇所である。3階は本来、常設展示用のスペースであったが、東京都の財政難のために貸出中心の会場となっており、現在、東京都写真美術館には常設展示用のスペースがない。
- ・ 一次開館以降、多彩な企画展を中心に積極的に内外の写真作品を紹介し、近年は、アニメやテレビゲームなど写真以外の映像作品にも力を入れており、日本における映像文化の普及に貢献している。

##### 活動方針

- ・ 過去から現在に至る写真・映像文化を未来に継承する美術館。
- ・ 質の高い写真・映像文化と出会う美術館。
- ・ 写真・映像文化の普及と新たな創造を支援する美術館。
- ・ 写真・映像文化の拠点として貢献する美術館。
- ・ 開かれた美術館。

#### 事業内容

(1) 収集保存 (2) 展覧会等企画 (3) 普及事業 (4) 広報・宣伝 (5) 調査研究  
他に、サービス戦略、経営改善なども事業評価が行われている。

今までのアニメ・マンガ等に関連する企画展

- ・ 文化庁メディア芸術祭(例年)
- ・ 東京国際映画祭(例年)
- ・ ショートショートフィルムフェスティバル(例年)
- ・ グローバルメディア 2005 おたく：人格＝空間＝都市(2005)
- ・ 東京アニメアワード フィルムフェスティバル(2006以降は東京国際アニメフェアへ)
- ・ イタリアアニメーション映画祭(2004)
- ・ グローバルメディア 2003(2003)

資料：東京都写真美術館 HP <http://www.syabi.com/>

#### 東京都現代美術館

##### 概要

- ・ 開館：1995年3月
- ・ 設置主体：東京都、財団法人東京都歴史文化財団(運営)
- ・ 所在地：東京都江東区三好4-1-1 都立木場公園内

##### 設立の経緯

- ・ 1995年、現代美術専門の公立美術館として、現代美術の振興を図り芸術文化の基盤を充実させることを目的として開館した。収蔵している約3,800点のコレクションは、日本の戦後美術を概観でき、国内でも有数の優れたものとして知られている。
- ・ 日本最大の美術館建築といわれている施設規模は、延床面積33,515㎡あり、10室ある常設展示室では終戦直後から1970年代までの美術の流れを辿ることができる。

##### 活動方針

- ・ 絵画、彫刻、ファッション、建築、デザイン等幅広い現代美術作品をみることができる。また、映像ギャラリーや美術関係図書約95,000冊を揃えた美術図書室では、美術に関する情報提供、教育普及を目的としたワークショップや各種講座・講演会等の美術を広める活動もあわせて行っている。

##### 事業内容

- (1) 展覧会等企画
- (2) 教育普及活動
- (3) 美術情報収集

今までのアニメ・マンガ等に関連する企画展

- ・ ディズニー・アート展(2005)
- ・ 日本漫画映画の全貌展(2004)
- ・ ジブリがいっぱい スタジオジブリ立体造型物展(2003)
- ・ マンガの時代展-手塚治虫からエヴァンゲリオンまで-(1998)

今までの企画上映

- ・ ディズニー・アート展開催記念・夏休み特別上映会(2005)

資料：東京都現代美術館 HP <http://www.mot-art-museum.jp/>

## 川崎市民ミュージアム

### 概要

- ・ 開館：1988年11月
- ・ 設置主体：川崎市、財団法人生涯学習財団（運営）
- ・ 所在地：神奈川県川崎市中原区等々力1-2 等々力緑地内

### 設立の経緯

- ・ 1988年、都市の発展過程やそこに花開いた文化を見つめ、考えるための資料や作品を積極的に収集・展示・調査・研究することを目的に、「都市と人間」という基本テーマをかかげて開館した。

### 活動方針

2006年度より、事業運営の見直しが行われており、以下の3項目を施設として目指す姿としている。

- ・ 市民に親しまれる川崎発の市民文化の伝承と創造の発信拠点としてのミュージアム
- ・ 市民ミュージアムの強みや川崎の持つポテンシャルを活かした全国に発信できるミュージアム
- ・ 市民ミュージアムの効率的な運営に努めるとともに、地域の活性化に貢献できる拠点としてのミュージアム

今後は、美術館機能と博物館機能の分離を図りつつ、施設の活用法や運営方法等の見直しが進められる。

### 事業内容

- ・ 都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、写真、漫画、映画、ビデオといった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料および芸術作品などを主な対象とした活動を展開し、基本テーマにアプローチしている。
- ・ 川崎市市民ミュージアムは、考古/歴史/民俗/美術・文芸/グラフィック/写真/漫画/映像（映画・ビデオ）の7部門があり、活動を展開している。

### 今までのアニメ・マンガ等に関連する企画展

- ・ 韓国現代マンガ展（2007開催予定）
- ・ Oh!「大水木しげる展」（2005）
- ・ CLAMP 四（Su） MANGA アートは時空(とき)を超える（2005）
- ・ フランスコミック・アート（2003）
- ・ アニメ黄金時代 - 日本アニメの飛翔期を探る -（2000）
- ・ 少女まんがの世界展 - 女性作家8人のまなざしと表現 -（1998）
- ・ - 現代マンガのパイオニア - 没後50年「岡本一平展」（1997）

### 今までの企画上映

- ・ デジモン、犬夜叉、名探偵コナン 人気アニメーション大集合（土日のみ）（2005）
- ・ Oh!「大水木しげる展」関連上映 妖怪たちがやってくる!!（2005）
- ・ 「CLAMP 四」展関連上映 CLAMP 映画祭（2005）
- ・ 嵐を呼ぶ!映画クレヨンしんちゃん祭り（2004）
- ・ 「谷岡ヤスジの世界」展関連上映 幻のアニメ「やっちまえ!!Do it!」復活上映（2004）
- ・ 映画ドラえもん大集合 -冒険、ふしぎの世界へ。-（2003）
- ・ 戦後日本のセル・アニメーション（2000）
- ・ チェコ・アニメーションの世界（1999）
- ・ 英国アニメーション（1994）
- ・ ドイツの新しいアニメーション（1992）
- ・ アニメ あ・ら・かると公開イベント（1989）

資料：川崎市民ミュージアム HP <http://www.kawasaki-museum.jp/>

## 八王子市夢美術館

### 概要

- ・ 開館：2003年10月
- ・ 設置主体：八王子市、財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団（運営）
- ・ 所在地：東京都八王子市八日町8-1 ビュータワー八王子2F

### 設立の経緯

- ・ 2003年、市民が気軽に親しめる「くらしの中の美術館」として、市街地に完成した再開発ビルの2階に開館した。

### 活動方針

- ・ 日常生活の中で様々な美術品とふれあうことで、豊かな感性を育み、魅力あるまちづくりの拠点となることを目指している。

### 事業内容

- ・ 年間6回程度の特別展（企画展示）を開催し、通年の常設展（収蔵品展示）を行っている。ワークショップや講演会などの企画により、学習機会の場を提供している。

### 今までのアニメ・マンガ等に関連する企画展

- ・ 安彦良和原画展（2006）
- ・ たむらしげるの世界展（2005）
- ・ 不思議ワールド 山村浩二アニメーション展（2004）

資料：八王子市夢美術館 HP <http://www.yumebi.com/>

## 高浜市やきものの里かわら美術館

### 概要

- ・ 開館：1995年
- ・ 設置主体：高浜市
- ・ 所在地：愛知県高浜市青木町九丁目6-18

### 設立の経緯

1995年、「かわら」をテーマにした美術館として、瓦を美術的に鑑賞し、瓦に関連する優れた芸術作品や、やきものに関連する芸術文化活動を通して、人々の美意識や感性を刺激し、創造意欲を高め、生活の中に遊び心とうるおい、豊かさをもたらすことを目的に開館。

### 活動方針・事業内容

かわら美術館では、日本の各時代の瓦類をはじめ、世界の瓦類や、やきもの資料、瓦ややきものに関連した美術品（絵画、版画、浮世絵、書、写真）を収集・展示。年4回の企画展及び小企画展を通し、芸術文化の発信に努めている。

### 今までのアニメ・マンガ等に関連する企画展

- ・ GUNDAM GENERATING FUTURES 来たるべき未来のために 高浜特別展（2006）
- ・ 新世紀エヴァンゲリオンクリエイター 貞本義行の仕事展（2002）
- ・ たかはまこ & 青沼貴子 マンガ原画展 たたかえっ!! おかあさん  
～子育てマンガで応援します ママと子どものタ・ノ・シ・イ毎日～（2001）

資料：高浜市やきものの里かわら美術館 HP <http://www.kawara-museum.takahama.aichi.jp/>

## 滋賀県立近代美術館

### 概要

- ・ 開館：1984年8月26日
- ・ 設置主体：滋賀県
- ・ 所在地：滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1 文化ゾーン内

### 設立の経緯

国内外の優れた美術作品の鑑賞を通して、県民の美術に対する理解を深め、美に対する感覚を養い、生活の中における心豊かな暮らしを目的として1984年に開館。

### 活動方針

作品収集の方針は以下の3点である。

- (1) 日本美術院を中心とした近代日本画
- (2) 郷土滋賀県ゆかりの美術
- (3) 戦後のアメリカと日本を中心とした現代美術

### 事業内容

- (1) 企画展の開催 (2) 調査研究 (3) 境域普及活動 (4) 貸し展示場の提供  
今までのアニメ・マンガ等に関連する企画展

- ・ フランスコミック・アート展(2003)
- ・ 日本アニメの飛翔期を探る アニメ・カルチャー展(1999)
- ・ シガ・アニュアル'95 ファンタジーRPGイラストレーション展(1995)

資料：滋賀県立近代美術館 HP <http://www.biwa.ne.jp/~sg-kinbi/>

## 福岡アジア美術館

### 概要

- ・ 開館：1999年
- ・ 設置主体：福岡市、財団法人福岡市文化芸術振興財団(運営)
- ・ 所在地：福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8F

### 設立の経緯

福岡市は、古代からアジア文化の受容窓口であったという地理的、歴史的な特質をふまえ、アジアとの交流への先進的な取り組みのひとつとして1999年に開館した。

- ・ 1992年、市長がアジア近代美術館の建設意向表明し、翌年、第1回アジア美術館整備構想委員会が設立された。1995年には、アジア美術館建設専門委員会が設置され、翌年には再開発ビルである博多リバレイン(美術館が入っている)が着工した。
- ・ 1999年に博多リバレインが竣工し、美術館も開館した。開館記念展として「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999(第5回アジア美術展)」が実施された。

### 活動方針

- ・ アジアの近現代の美術作品を系統的に収集し展示する世界唯一の美術館として、世界のどの美術館とも異なる独自性と魅力を持つ。
- ・ アジアの美術作家や研究者を招へいし、アジアの美術・文化に親しむ場として機能してきた。福岡・日本とアジアや、市民と美術にたずさわる人々が、互いに理解し、共に創造し発信していくことを目指す交流型の美術館である。
- ・ 「まち」のエネルギーがうずまく都心にあり、「まち」に生きる人々が、アジア美術を通してアジアの「いま」へ最短距離でアクセスできる都心型の美術館である。

## 事業内容

### (1) 美術交流

アジアから美術作家と研究者を招聘し、これらの人材が福岡での滞在を通して地域の人々と交流しながら作品制作やワークショップ、パフォーマンス、講演会など様々な美術交流を行う。

国内外の美術館や美術研究機関との情報交換、調査研究・交流活動も展開する。交流事業を通して、美術作家と市民、国内外の研究者や専門家との相互協力的なネットワークを築く。

### (2) 教育普及

幅広い層の市民が参加できるワークショップや講演会などの教育プログラムを実施し、美術館のボランティアスタッフによる展示作品の解説などを通して、アジアの美術や文化にふれ、理解を深める機会を設ける。

季刊紙やホームページなどの広報物を製作し、アジア美術の情報を発信する。

### (3) 調査研究

アジア各国での近現代美術に関する研究を、現地調査や文献資料などを用いて継続的に行い、その成果を展覧会や講演会などの形で発表する。

現地調査で集めたアジアの美術に関する貴重な資料を市民や国内外の専門家に提供し、世界各地から福岡を訪れるアジア美術の研究者とともにアジア美術の研究を深める。

### (4) 作品収集

アジア近現代美術の絵画、彫刻、版画、工芸など多様な作品を系統的に収集する。原則として19世紀から現代までの近現代の作品を中心に、パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシアの以北以西の23の国と地域の作品を対象としており、2004年の時点で約1,700点を所蔵している。

### (5) 展示

所蔵品展、企画展、特別企画展を実施し、アジアおよびアジアと関連のある作品を紹介する。

今までのアニメ・マンガ等に関連する企画展

- ・ アート横断 AniMate。アニメイト。展 ~日韓現代アートに見るアニメ的なもの~ (2005)
- ・ 文化庁メディア芸術祭福岡展 (2004)
- ・ 東アジア (中国・香港・韓国・日本) の若手漫画家 11 人の作品に見る「私たち」の現在\_そして未来! アート横断・ アジア IN コミック展 私たちはどこへ行くのか? (2001)

資料: 福岡アジア美術館 HP <http://faam.city.fukuoka.jp/>

## 2 - 2 . アニメ・マンガとの関連性が強い地域の概況

### ( 1 ) アニメ・マンガを活用したまちづくりの取り組み

アニメ・マンガ関連の産業(プロダクションスタジオ等)が集積している地域や、作家・作品ゆかりの地などを中心として、アニメ・マンガを地域活性化のテーマとして活用しているケースが見られる(図表2-2)。

アニメ・マンガといった要素を地域活性化のテーマとして活用する際には、直接的な受益者が限定されやすいことや、こうした要素に対する地域住民らの感情にも配慮が必要となることなどから、地域内でコンセンサスを得て幅広い取り組み主体間の連携体制を構築できているかどうか、まちづくりの成否の大きな鍵となっている。

図表2-2 アニメ・マンガを用いて地域活性化に取り組んでいる事例

地域	取り組み主体	開始年	概要	運営主体の分類		
				行政	商工会・事業者	NPO・財団・他
旭川市	旭川まんがアニメ産業研究会	H15	2003年、マンガやアニメをイベントや地域産業の活性化などへ生かすことを目的とした「旭川まんがアニメ産業研究会」が発足した。旭川でアニメーション制作を行う株式会社ワークスを中心となって活動しており、漫画やアニメを産業振興や地域の活性化につなげるため、上映会や漫画家のトークショー等を開催。今後は、声優を招いての録音体験会やアニメ・ゲーム音楽の演奏会、イラスト展など新しい催しを企画し、買物公園の振興を目指している。シンポジウム「まんが、アニメ産業と地域経済」(2004・旭川大学地域研究所主催)、「まんが・アニメもすこいぞ!旭川」(2005)が開催されている。		◎	
新潟市	にいがたTMO新潟商工会議所	H14	1983年より同人誌即売会の「ガタケット」が隔月で開催され、一回の来場者は約7,000~10,000人である。1998年から「にいがたマンガ大賞」といいたがマンガ大賞フェスティバルが開催されている。2002年より商店街との共同事業で「万代クリエイターズパーク」が設置され、新潟出身の漫画家の作品を展示するギャラリーとマンガ教室、自由な創作の場のアトリエスペースの開設、運営が行われている。過去のイベントは、マンガ大賞展、懐かしのマンガ表紙展、似顔絵、イラスト講座等のほか、2003年からはマンガストリートを超えたアートな街の物語づくりを目指す事業が毎月実施されている。	◎	◎	
石巻市	石巻市	H7	当時の市長と宮城県出身で高校生時代を市内で過ごした漫画家・石ノ森章太郎氏が会談し、両者がマンガによるまちおこしの理念に共感したことを一つの契機として、同市企画部街づくり推進課主催の「マンガを活かした夢のある街づくり推進懇談会」を設置、マンガによるまちおこしを狙いとした「石巻マンガランド基本構想」が翌年策定された。同構想の主要事業の1つとして石ノ森美術館整備事業が掲げられH13年にオープンした。JR石巻駅から美術館までの道は「マンガロード」として整備された。	◎		
	TMO株式会社街づくりまんぼう	H13	H13年、第三セクターである(株)街づくりまんぼうがTMOとして認定され、同時期に完成した石ノ森美術館の運営を市から受託する。資本金6千万円は、石巻市と公募の一般市民が50%ずつ出資した。「萬画の国・いのしのみまき」推進委員会とともに、マンガ祭りをはじめ、空き店舗と石ノ森キャラクターを組み合わせた各種イベント開催にも取り組んでいる。	◎	◎	
杉並区	杉並区	H12	アニメ製作会社の約80%が東京都内に存在、杉並区にはその中の約20%にあたる約70社が集中し、日本屈指の「アニメの地」となっていることから、アニメーション産業を地域の大切な産業として発展の支援を行うとともに、アニメーションの技術や資料を守っていく活動を進めることとする。	◎	◎	
	杉並アニメ振興協議会	H13	H13年、アニメーションフェスティバル2001in杉並を開催。その後杉並アニメ振興協議会の設立、小学校の「総合的学習の時間」にアニメ製作過程を取り入れ、新世紀東京国際アニメフェスタ21のサテライト会場「すぎなみスペシャル」の実施、杉並アニメ匠塾のスタート、杉並アニメ資料館をオープン、杉並区産業振興課内に「アニメ・新産業係」を設置等、様々な取り組みを行う。H18年3月にはアニメ資料館をリニューアルした杉並アニメーションミュージアムがオープン。		◎	
	東京商工会議所杉並支部		地域振興活性化事業としてアニメ産業振興を支援。主な活動は「東京国際アニメフェア」「アニメーションフェスティバルin杉並」等アニメ関連イベントへの出展支援や「杉並アニメ振興協議会」の設立支援および同協議会制作のオリジナルアニメPR支援など。		◎	
練馬区	練馬区		S31年東映動画スタジオが、S37年には手塚治虫が虫プロダクションを練馬区内に設立、これら大手プロダクションのある練馬区・杉並区周辺に、中小の下請けプロダクションが集まった。アニメ原作者でもある多くの漫画家も練馬区在住であることから、『アニメのふるさと練馬』を標榜し、地域活性化の一つとして推進、区をPRするための素材、観光資源の一つとしてアニメを位置づけている。平成19~20年に、商店街活性化の一環として、アニメキャラクターフラッグを設置。	◎		
	練馬アニメーション協議会	H16	東京商工会議所練馬支部内に事務局、現在アニメ産業関連事業所(法人/個人)50事業所が加盟。垣根を越えて新しいビジネスモデルの模索とアニメ産業の活性化などを目的に組織。行政や大学などと連携しての支援や人材育成、国内・海外への情報発信などを旨とする。東京国際アニメフェアなどの展示会・イベントに出展している。		◎	
	練馬アニメフェスティバルin大泉実行委員会事務局	H13	毎年開かれている「練馬アニメフェスティバルin大泉」の運営主体で、事務局は練馬区産業経済部商工観光課内に設置。地場産業でもあるアニメ産業を区民などにアピールし、大泉学園駅周辺の商店街活性化を図る。商店街や小学校、東映アニメーションギャラリー等の複数の会場で、セル画彩色教室、アニメ工作教室、スタンプラリー、名作アニメ上映会等が開かれる。	◎	◎	
三鷹市	三鷹市、財団法人徳間記念財団	H13	美術館の敷地が都市公園内であるため、民間施設の設置は事実上困難であった。このため美術館は、三鷹市の施設(市立美術館)として2001年に開館し、正式名称は三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館)である。美術館を運営している財団は、アニメーション文化に関する普及啓発事業として、三鷹の森アニメフェスタなども開催している。	◎		◎
	三鷹市、NPOコミュニティー・サポーターズ	H15	三鷹市の支援を受けて2003年から「インディーズアニメフェスタ」が開催されている。運営団体のコミュニティー・サポーターズは、アニメーション産業などを活かしたまちづくりやアニメーション産業の人材育成支援、インディーズ映像クリエイターへの支援活動や企画を展開しているNPOで、このコンテストは、質の高い応募作品により特に注目度の高いコンテスト・上映会として知られている。コンテストの受賞作品は、東京国際アニメフェア2007でも上映・紹介され、2008年の国際アニメフェア・クリエイターズワールドの選考にもノミネートされる。作家が作品の認知度を指すうえでも有効なコンテストといえる。			◎
国分寺市	国分寺市商工会、東京経済大学、国分寺地域連携推進協議会	H16	国分寺市文化振興計の中で、「メディア芸術の振興」として、「アニメ産業と連携した情報提供・人材育成」がうたわれている。2006年9月に国分寺にあるアニメーションスタジオのプロダクションI.G(改穀機動隊、XXXHOLIC、BLOOD+などを手がけているスタジオ)の1998年からの歩みを紹介する展示および作品上映会が、東京経済大学と国分寺地域連携推進協議会の主催により、「ぶんじ発見アニメ博(プロダクションI.Gアニメ展)」として開催された。	◎	◎	

地域	取り組み主体	開始年	概要	運営主体の分類		
				行政	商工会・事業者	NPO・財団 他
大阪市	日本橋筋商店街振興組合 日本橋まちづくり振興株式会社	H18	2007年3月、西日本屈指の電気の街・日本橋にコンピューター・グラフィックス(CG)を使ったアニメ制作業者の育成を目的とした「日本橋CGアニメ村」が開設された。アニメ業界の東京一極集中が進む中、安い賃料でオフィスを提供し、仕事を確保する仕組みを作ることで、大阪・日本橋からのアニメの発信が試みられている。アニメ村の拠点として地元企業からビルの3、4階フロアを借り受け、商談スペースも設置している。現在は、CGアニメ制作会社をはじめCGアニメ作品の企画、制作会社など4社が入居、残る5室の入居者を公募している。		◎	
神戸市(長田地区)	神戸ながたTMO	H18	新長田地区では、神戸ながたTMOが中心となり、「KOBEBE鉄人PROJECT」として神戸出身の横山光輝のキャラクターでまちづくりを仕掛けている。このプロジェクトは、鉄人28号のモニュメント設置や横山光輝記念館の設立を目的としたもので、復興のシンボルとして鉄人28号を取り上げており、現在は、鉄人28号のモニュメントの設置計画が決定している。		◎	
広島市	ポール・イマージュ・広島	H18	「アニメーションシティ広島」は、経済産業省平成18年度「サービス産業創出支援事業(観光・集客交流サービス分野)」委託事業である「広島アジア・アニメーション創発プロジェクト」の1事業として、ポール・イマージュ・広島(有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金を代表団体とする17団体で構成)が開発する、「広島」「アニメーション」をテーマにした地域密着型サイト。「ポール・イマージュ・広島」は、「広島国際アニメーションフェスティバル」と「広島アニメーションビエンナーレ」の開催効果と地域経済への波及効果をさらに高めるため、(1)広島市民や中小企業の参加と連携、(2)通年にとつた集客交流の促進、(3)アニメーション産業及び関連ビジネスの創出、を実現することを目的としている。		◎	◎
高梁市	高梁市(川上地域)	S63	昭和63年から漫画文化のまちづくりを推進しており、高梁市と合併した2006年以降も漫画と福祉のまち『川上』として「マンガ文化の町づくり」が進められている。「マンガ」という大衆文化がもたらす「笑い・ユーモア」は、生活の潤滑油として「ゆとり・豊かさ」を生み、「マンガ」がもつ「夢・ロマン」は地域の活力を生み育てる、というコンセプトのもと、マンガキャラクターや映画の一場面を題材にして、青森ねぶたを模倣した「絵ぶた祭り」が夏に開催されている。また、地域内各所のマンガオブジェや「吉備川上ふれあい漫画美術館」など、マンガをテーマにした地域整備が行われ、漫画ファンへの来訪が多い。	◎		
高知県	高知県		高知県は横山隆一、やなせたかしなど、多くの漫画家を輩出していることから、マンガによるまちづくりの取り組みを行っている。県公営HPに「漫画王国」というページを設けて「マンガによるまちづくり」をPR、高知市文化プラザ「かるぼーと」において昭和61年から「こうちまんがフェスティバル」を毎年開催している。H4年より全国の高校漫画サークル日本一を決定する「全国高等学校漫画選手権大会～まんが甲子園～」をまんがフェスティバルと共催。	◎		
	高知市	H14	H14年、高知市文化プラザ「かるぼーと」内に横山隆一記念まんが館を開設。翌年からはまんが館との共催で「4コマまんが大賞」を創設。	◎		
	香北町(現香美市)	H8	H8年、「アンパンマン」の作者として知られるやなせたかし氏の出身地である旧香北町に、香北町立やなせたかし記念館「アンパンマンミュージアム」が開館。同館はやなせ氏が費用を出して古里に建築し、町に寄付、運営をアンパンマンミュージアム振興財団が行っている。H10年にはその隣に別館として「詩とメルヘン絵本館」が開館した。	◎		◎
	高知新聞社		独自にまんがによる地域振興をHPにて情報発信しており、「黒潮マンガ大賞」「高知まんが道場」を主催。	◎		
	NPO法人MANGAMIT(マンガミット)	H16	まんが振興のための団体として、県内にある漫画のプロダクション、団体、専門学校などの関係者が協力して発足。漫画やイラストを使う各種看板、広報紙、パンフレットなどの製作を収益の核にして、若手漫画家の受け皿とし、その育成と「漫画王国・土佐」をアピールするのが目的。現在はさまざまなマンガ関連のイベント等の主催・協賛団体に名を連ねている。			◎
境港市	鳥取県	H18	作者水木しげる氏の出身地である同県境港市を妖怪の街としてPRし観光客誘致に貢献した実績から、県全体の観光PRのために「とっとり妖怪観光大使」に任命。	◎		
	境港市	H5	H元年から進められた「緑と文化のまちづくり」の一環として、JR境港駅から商店街を結ぶ目抜き通りに、水木しげる氏の漫画作品に登場するキャラクターのブロンズ像を設置する「水木しげるロード」をつくり話題に。H15年には水木しげる記念館をオープン。現在は「さか」と鬼太郎に会えるまち」をキャッチフレーズに観光PRに取り組む。	◎		
	境港市観光協会		H17年、日本観光連盟が主催する第12回「優秀観光地づくり賞」を受賞。		◎	
	境港市商工会議所		観光協会との協力の下、妖怪外灯の設置、「妖怪そっくりコンテスト」「妖怪川柳コンテスト」の開催、「境港妖怪検定試験」の実施などPR活動を行う。		◎	
	鬼太郎音頭保存会	H8	H5年につくられた「鬼太郎音頭」を市の新しい伝統芸能に育て上げようと結成。「水木しげるロード」のPR部隊として各種イベントに登場している。これまでに県内外での出演数は600を超えるなど、境港市を代表する芸能として順調に知名度を上げている。H15年、商工会議所創設の「第1回境港商工会議所地域振興賞」を受賞。			◎
	水木ロードを育てる会	H10	オブジェの設置以降、盗難・器物損壊事件が数件連続的に発生したことから、地域の防犯連絡所・子供会・自治会・老人会・各種団体等により「水木ロードを育てる会」が結成され、日々の警戒活動、積極的な清掃や点検活動、広報活動など少年の社会参加活動を含めた活動が推進されることとなった。			◎
	水木ロード振興会		沿道の商店主が中心となって組織され、水木しげるロードの商業振興を展開。		◎	
境港まちづくり応援団		H11年より、水木しげるの作品に登場する妖怪のオブジェを制作する「妖怪オブジェコンクール」を主催。			◎	
北栄町	北栄町北栄町商工会	H8	北栄町では、同町出身の漫画家「名探偵コナン」の原作者・青山剛昌さんを活かしたまちづくりを展開している。平成8年、商工会の地域ビジョン策定事業が発端となり、JR山陰本線の由良駅前から伸びる通称コナン通りにブロンズ像等を設置したほか、平成11年にはコナン大橋が開通、平成12年には「コナン探偵社」がオープンした。平成19年3月の「青山剛昌ふるさと館」の開館により、北栄町では行政と町民有志による推進組織が設置され、「青山剛昌ふるさと記念館」を核とした「コナンの里づくり」が進められている。		◎	
北九州市	北九州市	H19	北九州市は「北九州アニコン2006」と「北九州アニコンWEBアニメ広告コンテスト」を通じて、Webアニメを利用したコンテンツ産業創出の試みを行っている。福岡市と北九州で、このプロジェクトに関連したイベントが開催されている。この取り組みが目指すものは、地方都市にWEBアニメビジネスを起し、才能ある若者に活躍の場を創出することであり、「北九州アニコン」の実施は、目標達成への第一歩となった。	◎		

資料：各Webサイトから作成



< 参考事例 >

宮城県石巻市の取り組み

施設の概要

- ・ 開館：2001年
- ・ 設置本体：石巻市、(株)街づくりまんぼうが運営(市からの委託)
- ・ 所在地：宮城県石巻市中瀬2-7

設立の経緯

- ・ 1995年7月、当時の市長と漫画家・石ノ森章太郎氏(故人)が会談したことを一つの契機として、同年11月に「マンガを活かした夢のある街づくり推進懇談会」を設置。
- ・ 1996年3月にマンガによるまちおこしを狙いとした「石巻マンガランド基本構想」を策定。
- ・ 「石巻マンガランド基本構想」の主要事業の1つとして2001年にオープン。

活動方針

- ・ マンガのもつ特性である創造性、メディア性、国際性などを通して、豊かな感性、創造力を育む場となることを基本目標としている。
- ・ 市民が集い、交流できる「マンガで結ばれる街ステーション」施設としての役割を果たす
- ・ マンガ文化・地域(日本)文化の発信基地としての交流拠点の役割を果たす
- ・ 中心市街地活性化への貢献  
(街づくりまんぼう・「萬画の国・いしのまき」推進委員会による『マンガッタン祭り』の開催、空き店舗と石ノ森キャラクターを組み合わせた各種イベント開催)

外部との連携

JR東日本仙台支社と連携が図られている。

- ・ キャラクターを活かした駅舎の整備
- ・ 石ノ森キャラクターがデザインされた列車「マンガッタンライナー」の運行
- ・ 石ノ森作品のキャラクター像やマンガ案内板、壁画などが設置されている「いしのまきマンガロード」(石巻駅から石ノ森萬画館までの約1kmの通り)の整備

< 参考資料 >

石ノ森萬画館 <http://www.man-bow.com/manga/>

(株)街づくりまんぼう <http://www.man-bow.com/>

日本漫画家協会 [http://www.nihonmangakakyokai.or.jp/rensai\\_7.htm](http://www.nihonmangakakyokai.or.jp/rensai_7.htm)

東北地方整備局 [http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00360/t-com\\_vol17\\_HP/pic-up2.html](http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00360/t-com_vol17_HP/pic-up2.html)

東北経済産業局 <http://www.tohoku.meti.go.jp/koho/kohoshi/mokuji/0408/teigen.htm>

## 杉並区の取り組み

### 取り組みの背景

- ・ 昭和 40 年代、当時南阿佐ヶ谷の近くにあった大手のアニメスタジオ「東京ムービー」を中心に、多くのアニメスタジオが集まり、現在では日本のアニメ制作会社の約 80%が東京都内に立地、杉並区にはその中の約 20%にあたる約 70 社が集中し、日本屈指の「アニメのまち」となっている。
- ・ しかし近年は中国や韓国などアジア諸国のアニメ産業への参入によって国際競争力の強化の必要性が生じており、「アニメを東京の地場産業として位置づける」「アニメの産業集積を世界に配信」「業界の組織化」「人材育成」「資金調達の支援策」等の取り組みが課題となっている。
- ・ こうした背景を踏まえて、杉並区では、アニメーション産業を地域の大切な産業として発展の支援を行うとともに、アニメーションの技術や資料を守っていく活動を進めることとなった。

### 具体的な取り組みの内容

- ・ 杉並区では「杉並区 21 世紀ビジョン」(2000 年 9 月)の目標の一つとして「みどりの産業で元気な都市をつくろう」を掲げた。「みどりの産業」=「住宅地に負荷を与えずに成長する産業分野」とし、その中にアニメ産業を位置づけた。
- ・ これを受け、産業振興課内に専任部署であるアニメ・新産業係(現在は産業経済課アニメ係)を設置し、「アニメの杜すぎなみ構想」に基づいて各種具体的な取り組みを進めてきた。
- ・ 2001 年 4 月よりアニメーション産業の振興と住民によるアニメーションの魅力再認識を目的として「アニメーションフェスティバル in 杉並」を開催、2007 年 3 月には第 5 回目を迎えている。
- ・ 同フェスティバルの開催を契機として区内のアニメーションスタジオを中心とする「杉並アニメ振興協議会」が創設され、オリジナルアニメ作品「サヨナラ、みどりが池」を制作した。同作品は杉並区浴場組合の協力を得て銭湯で上映もされ、地域にも浸透している。
- ・ 区内に集積するアニメーションスタジオで蓄積された技術の向上と次世代への技術継承を進めるため、2002 年度から地域産業育成・振興の一環として、次代のアニメーター育成を目的とした「杉並アニメ匠塾」をスタートさせた。現役のアニメーターから動画作成を中心に直接指導を受け、毎年数名の卒業生を排出している。
- ・ アニメの支援・育成の中心となる施設として、「杉並アニメ資料館」をオープンした。その後、2005 年 3 月に同施設は「杉並アニメーションミュージアム」(展示・運営は日本動画協会)としてリニューアルしオープン、制作会社の壁を越えてアニメーション作品を紹介する施設となった。
- ・ また、東京商工会議所杉並支部が地域振興活性化事業としてアニメ産業振興支援を行い、「アニメーションフェスティバル in 杉並」等アニメ関連イベントへの出展支援、「杉並アニメ振興協議会」の設立支援、同協議会制作のオリジナルアニメの P R 支援を行っている。
- ・ さらに上井草商店街では「かみいぐさアニメまつり」や女子美術大学の協力を得たシャッターペイントを行い、地域ぐるみでアニメを取り入れた活動を行っている他、区立の小中学校では授業にアニメを取り入れている。「総合的な学習」に杉並アニメ振興協議会の指導のもとでアニメを製作し、アニメスタジオを職場体験や見学で訪れる学校もある。

### <参考資料>

杉並区公式 HP “アニメのまち・杉並”

<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/guide/guide.asp?n1=150&n2=100&n3=10>

東京商工会議所杉並支部 <http://www.tokyo-cci.or.jp/suginami/anime.html>

メイド in スギナミ <http://suginamigaku.org/madein/03/03.html>

都立荻窪高等学校 <http://www.suginami-chuyakan-j.metro.tokyo.jp/>

## 練馬区の取り組み

### 取り組みの背景

- ・ 発足後間もない東映動画（現・東映アニメーション）が東映大泉撮影所内にスタジオを構え、また手塚治虫が創設した虫プロダクション（旧虫プロ）が富士見台からその歴史をスタートさせるなど、練馬区も日本のアニメーション産業と関わりの深い地域である。
- ・ 日本初の劇場用カラー長編アニメ「白蛇伝」や、同じく日本初の30分連続テレビアニメ「鉄腕アトム」が上記2プロダクションによるものであることから、「アニメ発祥の地」としてアピールしている。
- ・ 大手プロダクションを取り囲むように中小規模の下請けプロダクションも同区に集中して立地している他、アニメ作品の原作者でもある多くの漫画家（松本零士、あだち充、高橋留美子など）も練馬区内に在住しており、杉並区と並んでアニメが産業として根づいている地域と言える。

### 具体的な取り組みの内容

- ・ 練馬区では「アニメのふるさと練馬」を標榜し、地域活性化策の一つとしてアニメーション関連要素を活用した取り組みを推進している。
- ・ 練馬区をPRする素材、観光資源の一つとしてアニメを位置づけており、2007年3月発売（第2版、）のガイドブック「るるぶ練馬区」（JTBパブリッシング）では「練馬区から世界へ！アニメはここから始まった！」と題して、アニメを取り上げた特集ページも生まれ、東映アニメーションギャラリーなどアニメを体感できるスポットや、区内在住の漫画家によるおすすめスポットが紹介されている。
- ・ 東映アニメーションギャラリーでは東映アニメーションが保存する約半世紀に渡る資料を展示・公開するために、常設展示のほか、随時特別展も行っている。
- ・ 2002年から「練馬アニメフェスティバル in 大泉」を開催し、大泉学園駅周辺の商店街活性化を図っている。2006年は大泉小学校、商店街（東大泉商栄会）、東映アニメーション、Tジョイ大泉の4会場でアニメ制作の体験をはじめとする各種イベントが実施された。
- ・ 練馬区内のアニメーション産業関連する50の事業所が加盟する「練馬アニメーション協議会」では垣根を越えた新しいビジネスモデルの模索とアニメ産業の活性化を目的とし、具体的な取り組みとしては東京国際アニメフェアなどの展示会・イベントへの出展に取り組んでいる。
- ・ また、日本貿易振興機構（JETRO）が日本国内と海外の特定地域の産業のビジネス交流を支援するLocal to Local産業交流事業の2006年度案件の一つとして、練馬区とパリ市のアニメーション産業の交流案件を採択した。日本のアニメ作品は国際的に評価が高いものの、練馬区内の関連企業の多くが中小企業で販路開拓できていない状況を受け、ヨーロッパの中でもアニメ産業が盛んなフランスの業界団体との交流を通じ、海外販路の拡大とフランス企業との業務提携を図ることを狙いとしている。2006年度区民意識意向調査で、アニメ関連事業の認知度について調査を実施した結果は以下の通り。  
「練馬区は商業アニメの発祥地である」知っている...24.5%  
「区が関わっているアニメ関連事業」 知っている...18.7%  
「区内には70社以上に及ぶアニメ関連企業が集結している」 知っている...11.2%

### < 参考資料 >

練馬アニメーション協議会 <http://www.nerima-anime.jp/>

東映アニメーションギャラリー <http://www.toei-anim.co.jp/tag/>

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

[http://www.jil.go.jp/institute/reports/2005/documents/025\\_03.pdf](http://www.jil.go.jp/institute/reports/2005/documents/025_03.pdf)

日本貿易振興事業 [http://www.jetro.go.jp/jetro/activities/region/l\\_to\\_l/2006.pdf](http://www.jetro.go.jp/jetro/activities/region/l_to_l/2006.pdf)

## 高知県の取り組み

### 取り組みの背景

- ・ 高知県は「フクちゃん」の横山隆一氏、「アンパンマン」のやなせたかし氏をはじめ、岩本久則氏、はらたいら氏、青柳祐介氏、くさかり樹氏など、多くの漫画家を輩出している。
- ・ 高知県に根づいた「漫画」をひとつの文化と捉えてマンガによる地域づくりの取り組みを進めている。

### 具体的な取り組みの内容

- ・ 高知県は HP に「漫画王国」というコンテンツを設けて「マンガによるまちづくり」を PR している。
- ・ 高知市では、住民がマンガに親しむことを狙いとして、1983 年より「まんがフェスティバル」を開催している。2006 年度は 11 月 3 日～5 日の 3 日間、作家によるトークショーやまんが教室をはじめ、執事喫茶や同人誌の即売会など、多彩なイベントが展開された。
- ・ 同フェスティバルは 1992 年度から全国の高校生を対象とした参加型イベントである「全国高等学校漫画選手権大会～まんが甲子園～」と共催となった。漫画王国・土佐としての全国への情報発信と、漫画を通じた地域間・世代間の交流推進を通じて、地域振興に寄与している。
- ・ 高知新聞社もマンガによる地域振興を念頭に、HP 上で「まんが王国・土佐」と題して情報発信を行っている。1989 年に創刊 85 周年を記念して「黒潮マンガ大賞」を創設した他、1987 年よりアマチュア漫画家の腕試しのため、毎月 1 回紙面上にて「高知まんが道場」を開設している。
- ・ 高知県出身の漫画家にちなみ、高知市内には「横山隆一記念まんが館」が、香美市には「アンパンマンミュージアム」がそれぞれ立地している。
- ・ (財)高知市文化振興事業団と横山隆一記念まんが館の主催で 2005 年に「4 コマまんが大賞」を創設し、作品審査の実施と作品展の開催に取り組んでいる。
- ・ 2003 年 11 月、若手漫画家の育成と「漫画王国・土佐」をアピールする目的で、高知県内の漫画プロダクション、関係団体、専門学校などの関係者らが協力して「特定非営利法人 MANGAMIT (マンガミット)」が発足した。「まんがフェスティバル」の運営にも関わり、2006 年の同イベントでは、理事長が実行委員長を務めている。

### < 参考資料 >

高知県広報課 <http://www.pref.kochi.jp/~kouhou/tosa/manga/index.html>

高知新聞社「まんが王国・土佐」 <http://www.kochinews.co.jp/manga/manga.htm>

横山隆一記念まんが館 <http://www.bunkaplaza.or.jp/mangakan/>

アンパンマンミュージアム <http://www.anpanman-museum.net/>

日本漫画家協会 [http://www.nihonmangakakyokai.or.jp/rensai\\_0402.htm](http://www.nihonmangakakyokai.or.jp/rensai_0402.htm)

全国高等学校漫画選手権大会 まんが甲子園 <http://www.tosa-te.ne.jp/~katsuraLC/>

## (2) アニメ・マンガの流通・消費の拠点

この項では、流通・商品の拠点地域で、アニメ・マンガはどのように誘客に活用されているのかを、主に秋葉原の事例を中心に記述する。

### アニメ・マンガ主力商品、関連商品、派生商品の流通形態と特徴

アニメ・コンテンツの流通形態は主に DVD メディア、マンガの流通形態は週刊誌や月刊誌などの雑誌、単行本、さらに通常の図書流通経路では取り扱わない同人誌の委託販売などである。

その他、関連商品としてアニメ関連図書・ポスター・文具・菓子などがあり、更に派生商品としてアニメ・マンガの登場キャラクター・登場メカ、またはオリジナルではあるが既存のアニメ・マンガに登場しても違和感のないようなデザインを造形化したフィギュア・プラモデル・ぬいぐるみなどの立体化商品群がある。

これらの日本アニメ・マンガ商品、及び関連商品は日本全国で、また一部は海外も含めて広く購入することができる。しかしながら日本アニメ・マンガ商品はユーザーの嗜好によって細かくジャンルが細分化されており、特にニッチなマニア向け商品については生産量や流通経路が限定される。

秋葉原ではこれら各ジャンルを各商店が分担して担う一方で、街全体としては網羅的に揃えており、これが「アニメ・マンガの聖地」と呼ばれる所以である。

### 秋葉原の市場規模

在日外国人が家電製品を買うために秋葉原に集まり、秋葉原ショッピング・ツアーが外国人観光客の定番観光コースになっていることは、10年ほど前からよく知られている。

家電・パソコン・ゲームソフトや映像ソフトを扱う店舗が400店前後、年間の流通額は3,000億円といわれており、この十分の一にあたる300億円程度を外国人が購入していると推測されている。

この需要を支える海外からの顧客層は、年代とともに変化しており、1990年代には欧米から韓国へ、その後2000年代に入って中国へ広がり、現在はインド、パキスタン、スリランカなどの国々の人々の購買力が向上、今後期待される顧客はアフリカの人々ともいわれている。

### 主力商材のハードからソフトへの変化と国際性

秋葉原の国際性を支えている要因として、商材のハードからソフトへの変化、アニメ、ゲーム、フィギュアなどのショップの増加がある。

秋葉原はその主力商材を、戦前は電気材料・ラジオ、戦後以降は家電、オイルショックからバブル崩壊まではAV機器・パソコンと時代に合わせて変化させてきた。

更にバブル経済崩壊から現在までの間には、AV 機器店でソフト販売の割合が増え、パソコン・ショップがゲームショップに衣替えし、JR 秋葉原駅前の再開発・整備とは逆行するように、フィギュアなどを扱う小規模なホビー店や、コスプレをサービスに取り入れた「メイドカフェ」などが路地裏から表通りにまで雑多に展開されている。

こうして街全体で品揃えの多さを確保するとともに、秋葉原だけで手に入るマニアックなアイテムを提供している。

一方、海外からの来日動機は、従来の名所旧跡・自然風景に対する興味は年代を超えて見受けられるものの、若い世代では AV 機器中心とした家電以上に、日本のアニメ・マンガ、更には日本でしか手に入らない同人誌、フィギュアなどへの興味にシフトしている。

これらマニアックな商材を扱う商店が多数存在する秋葉原は、世界の日本ポップカルチャー・ファン、海外でコスプレやコミケを行う若者ファン・グループにとって、「オタク」的ライフスタイルへの憧れと結びつく形で、観光地として認識されつつある。

実際に、アメリカ・フランスなどでは日本ポップカルチャー・ファンを対象としたツアーが行われている。

### 秋葉原で隆盛するアニメ・マンガ周辺文化

アニメ・マンガの関連文化としてコスプレがあり、海外でも一部の若者ファン・グループによって行われていることは周知の通りである。

秋葉原でもコスプレを楽しむ人は多い。秋葉原のメイン・ストリートである中央通りは日曜日に歩行者天国化され、その際には多くの人がコスプレ姿で歩いている。またコスプレをする人の写真撮影のために、更に多くの人々が秋葉原を訪れる。

特に、世界最大のアニメ・マンガ関連同人誌即売会であり、同時にコスプレの一大祭典である「コミックマーケット」開催時には来街客が増加し、周辺文化との親和性の高さが分かる。

コスプレ衣装や小道具を取り扱う店舗もまた、家電・ソフト関連店に比較すれば店舗数は少ないものの、「武器屋商店」のようにロールプレイングゲーム内で登場する武具のレプリカ商品を少量・高価格で販売するなど、秋葉原でしか購入できない商材を提供している。

また、メイド喫茶などコスプレによる給仕を売り物にした飲食店も多数存在している。2000 年ごろから秋葉原に増えたこの種の飲食店は、男装バー、妹のように振舞うウェイトレスのいる店、和装で耳かきサービスを行う店など、現在ではユーザーの嗜好に答えて細分化されている。

これらの飲食店の従業員はコスプレ衣装のまま、宣伝のために多数、街頭でのチラシ配布などを行っており、さながらコスプレ・タウンとして、街全体がアニメ・マンガのアミューズメント施設の様相を呈している。

日本アニメ・マンガに対する興味は、コスプレという周辺文化への興味・参加欲求と密接に結びついていることから、これらの飲食店も外国人向けの誘客エンジンとして一層の成長が期待されている。

### 秋葉原の外国人観光客誘致事例

秋葉原ではその特殊性に着目した外国人観光客誘致策を行っており、アニメ・マンガを活用した観光施策のモデル都市として先駆的であると言える。

秋葉原の「西口商店街振興組合（現：駅前商店街振興組合）」や「電気街振興会」では、国際性を生かした観光産業振興を表明、2005年2月、2006年8月に政府の「ビジット・ジャパン・キャンペーン」にちなんで外国人向け秋葉原マップを製作・配布して割引キャンペーンなど行った。

また、TIJ（日本ツーリズム産業連合会）と駅前商店街振興組合は共同で、外国人観光客向けの秋葉原の徒歩周遊ミニ・ツアー（「秋葉原新発見ツアー」）を2006年3月、2007年1月～2月に行った。

さらにTIJは2006年9月に「New Discovery AKIHABARA」と題した秋葉原紹介のDVDを日英二カ国語対応版として製作・配布している。

秋葉原に拠点を持つデジタルハリウッド大学も、2007年2月に学生スタッフを主体としたTIJと同様の外国人向けツアー（「秋葉原ツアー・体験講座」）を行った。

TIJ、デジタルハリウッド大学ともに、アニメ・マンガ関連の店舗を主に取り上げて紹介している点が特徴的である。

### 流通サイドの外国人観光客誘致施策

秋葉原の国際的な集客力を支えているのは、こうした一過性のキャンペーンのみではない。秋葉原にはラオックス、石丸電気など家電・ブランド品店を中心とした外国人観光客向け免税店が多数ある。

秋葉原に3店舗を持つ免税店「アッキー・インターナショナル」では、世界各国の在日外国人を店員として雇用し、3店舗で合計22か国語に対応するという地道な努力を行っている。

これらの免税店の商材は主に旧来の家電製品またブランド製品などである。一方、今後主力となりうるアニメ・マンガ関連商品を取り扱う店舗においては、外国人観光客対応が進んでいないのが現状である。

取り扱う主力商品であるアニメDVDソフト、マンガ、ゲームなどは日本語版がほとんどで、外国語版は皆無と言ってよい。商品陳列棚の説明書き（POP）はマニア向けの独特な

表現がなされ、その陳列自体がエンターテインメント化しているが、これらもすべて日本語表記であり、外国人には殆ど内容が理解できないと思われる。関連商品のポスター・文具なども同様の扱われ方をされている。

現在、アソビット・ゲームシティなど一部の店舗において、英語での POP 表記が若干試みられている。そのためアソビット・ゲームシティでは、他の店舗よりも比較的多くの外国人が見かけられるという声もある。

フィギュア・コスプレ衣装など、アニメ・マンガの周辺文化を支える派生商品については、商品自体の陳列のされ方はコンテンツ商品同様であるものの、造形物であるため視覚的な楽しみを求める外国人観光客が比較的多く訪れる。2006 年 12 月に新装オープンしたコトブキヤ・ラジオ会館店では、マニアならずとも入店しやすい雰囲気作りとの相乗効果もあり、多くの外国人観光客が訪れている。

### 誘客のための考え得る店舗展開

秋葉原以外でも購入できる一般的な商品群であっても、秋葉原ではマニアのみが解する用語などを流用した独自の POP と共に陳列される例が多い。このエンターテインメント化された陳列も、英訳されていれば外国人マニアにも十分楽しめると思われる。

また、秋葉原ではよりマニア向け商材も多く、特に同人誌は一般流通経路に乗らず、各同人誌作家・サークルからの委託を受けて販売されるため、あまり国外には流通しない。従って、これらの外国語版を集約した陳列を行えば、外国人誘客が見込めると思われる。

アニメ DVD ソフト、アニメ CD ソフト、マンガ、雑誌、コスプレ衣装、フィギュアはそれぞれ店舗ごとに住み分けるか、同店舗の中にあってもフロア別に取り扱われている。これを、フィギュア・コスプレ衣装のような視覚中心に楽しめる派生商品をフロア入り口に配置し、その近くに関連するマンガやアニメ DVD ソフトの外国語版等の主力商品、文具などの関連商品を陳列するというように、関連性・一貫性を持たせれば、外国人観光客に対して訴求できると思われる。

### その他のマンガ・アニメ消費拠点

#### 中野ブロードウェイ

「海外のファン、業界人を案内するなら秋葉原、中野ブロードウェイの中古店は豊富に資料があって喜ばれる」と業界関係者内で皮肉られるほど、アニメ・マンガ関連の中古商品の取り扱いが豊富である。特に、中野ブロードウェイ内にある「まんだらけ中野店」はアニメ・マンガ・フィギュアを総合的に取り扱う大型店であり、自社の web サイトを日本語含む 5 ヶ国語で構築していることなどとも相まって、海外の日本アニメ・マンガファンの誘客エンジンになることが期待される。



そのほか、切手・中古レコード・テレカ・映画パンフ・プロマイド等あらゆるマニア向け商品がそろい、秋葉原同様、多数のジャンルに分かれた店舗が集積することで、中野ブロードウェイ全体がポップカルチャーのアミューズメント施設の様相を呈している。

### 池袋乙女ロード

2000年ごろより、東池袋・サンシャイン 60 を基点とした 200メートル程度の道路に、多数のアニメ・マンガ関連店が集積したことから名づけられた。

秋葉原が主に男性向け商品を取り扱うのと異なり、女性向けの商品を多く取り扱っているのが特徴である。

豊島区は 2006 年に「Tokyo 池袋国際アートフェスティバル 2006」を行うなど、今後は国際交流と絡めた文化振興にも力を入れつつある。

また、従来の繁華街としても秋葉原以上に栄えていることは周知の通りであるが、秋葉原で行ったアンケート調査では、アニメ・マンガのコアファンであっても、渋谷・新宿・池袋のような繁華街にショッピング目的で訪れることが多いという結果を得た。従ってアニメ・マンガに特化しない来街目的と、マンガ・アニメが相乗効果を生み、誘客エンジン化していくことが期待される。

## 2 - 3 . その他のアニメ・マンガを活用した取り組みの概況

### (1) アニメ・マンガ関連のイベント

日本国内のマンガ・アニメ及び周辺文化に関わるイベントについて、海外からの観光客来場の状況、観光客誘致の施策の有無を把握するため、国内16のイベントについてアンケート調査を行い、9のイベントについて回答が得られた。質問の内容は開催時期、来場者数等の基本事項、個人・団体の割合、主な外国人来場者の国籍など、9項目について質問した。以下の図表2-3は、アンケートを行った企業・団体の概要である。

図表2-3 アンケートを行ったイベントとその概略

展示会	<b>東京国際アニメフェア</b> 主催:東京国際アニメフェア実行委員会 開催時期:年一回 3月の木～日曜の四日間(2006年は3/23-26) 2002年から開催	東京都が中心となり開催されている国内最大のアニメイベント。講演会、新作発表会、声優や歌手によるステージなどのイベント、出展社により新作アニメや関係商品が展示・PRされる見本市、アニメ映画祭からなる。
	<b>アニメーション神戸*</b> 主催:アニメーション神戸実行委員会、神戸市、神戸デジタルコンテンツ振興会議 会期:年一回 1996年～	神戸市が中心となりアニメなどデジタル映像制作に携わる人材の発掘・育成とデジタル映像産業の振興・集積を図るために創設された。1996年という早くから実施されており、デジタルコンテンツ振興の動きに先駆けた存在である。
	<b>広島国際アニメーションフェスティバル*</b> 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会 広島市 (財)広島市文化財団 隔年開催 8月 1985年～	日本で開催される国際アニメ映画祭。隔年広島市で開催され、世界各国からの集まった応募作品の上映、コンペティション、展示会などが行われる。国内のみならず世界中の配給会社、制作会社、テレビ局などが参加しており、新たな才能を発掘する場にもなっている。
	<b>文化庁メディア芸術祭</b> 文化庁メディア芸術祭実行委員会(文化庁/CG-ARTS協会) 年一回 3月	文化庁が主催するアニメ、マンガなど新しいメディア作品を対象とした芸術祭である。平成17年度で9回を数え、日本において定期的に開催されるアニメ、マンガの大費用的なコンペティションとなっている。
	<b>東京国際映画祭</b> 財団法人日本映像国際振興協会 (第19回東京国際映画祭実行委員会) 年一回 秋	国際映画製作者連盟公認映画祭であり、1985年より開催され、2003年で18回を迎えている。世界12大国際映画祭の一つとして、日本の映画産業、文化に大きな寄与をしているイベントである。

展 示 会	<p>キャラホビ * C3×HOBBY 実行委員会 年一回 夏</p>	<p>主にプラモデル、フィギュアを中心とした造形系のイベントである。アニメやゲーム、マンガのキャラクター商品、プラモデルの展示、販売がなされ、玩具模型メーカーだけでなく、アニメやゲーム関連企業の出展もある。</p>
	<p>ジャンプフェスタ 集英社 週刊少年ジャンプ・月刊少年ジャンプ・Vジャンプ 年一回</p>	<p>集英社が開催するファン向けのイベントである。同社の代表雑誌であり人気作品を多く持つ「週刊少年ジャンプ」等に関する物販、トークショー、関連企業による出展の展示会などが行われる。</p>
フ ァ ン イ ベ ン ト	<p>コミックマーケット * 8月、12月の年2回開催 1975年～</p>	<p>日本を代表するメディアファンイベント、同人誌即売会であり、1日約15万人、3日間で延べ40～50万人を集客する日本最大のイベントでもある。8月のお盆と12月の年末の年2回、東京有明のビックサイト全館を使用し開催される。</p>
	<p>コミックシティ 赤ブーブー通信社 毎月休日に開催 (年二十回程度) 1988年～</p>	<p>コミックマーケットに次ぐ同人誌即売会として位置づけられるイベント。ただし、運営を営利企業が主催しており、運営方法などに差がある。東京では東京ビックサイトで年10回程度、大阪ではインテックス大阪で年6回程度、福岡では福岡ドームで年2回開催されている。主に女性の参加者が多いのが特徴。</p>
	<p>コミックライブ * スタジオYOU 毎週末</p>	<p>全国にて、同人誌即売会を開催している。全国の都市にて広範囲にわたり頻繁に、中小規模のイベントを開催している。運営会社は営利企業であり、こちらもコミックシティ同様、参加者は女性が多い。</p>
	<p>コミティア コミティア実行委員会 年四回(2.5.9.11月)</p>	<p>オリジナルの作品のみを取り扱う同人誌即売会として特徴的である。参加サークル1,500前後となっており、自分の創作物を自由に発表するアマチュアやプロの漫画家の場となっている。商業出版者との関係も緊密で、会場にマンガ編集者が常駐するブースを設け、原稿持ち込みをする機会を設けるなどしている。</p>
	<p>JCF * JCF(ジャパンコスプレフェスティバル) 毎週末</p>	<p>首都圏で開催されているコスプレイベントで、90年代から主催している。現在では、首都圏のみ月に2～3回イベントを主催、開催場所も、パシフィコ横浜などイベントホールや、としまえんなど遊園地でもイベントが実施されている。</p>
	<p>COS-DAY * COS-DAY事務局 (株式会社ユウメディア) 週末</p>	<p>コミックライブを主催するユウメディアのコスプレイベント(「コスプレファイヤー」などの名称が使用されることもある)であり、一昨年より開催されている。各地域毎に年に数回の頻度で開催されている。</p>

ファンイベント	世界コスプレサミット* テレビ愛知 年一回 2003年～	日本のアニメ・マンガへの思いを表現するコスプレイヤーを通して、クールな日本伝えるために2003年秋に第一回が開催された。その後、2004年、2005年と開催されており、昨年は愛知万博との合同企画として大々的に開催された。通常のコスプレイベントとは異なり、世界各国から代表者を選び、招聘してコンテストを行うイベントである。
	ワンダーフェスティバル* ワンダーフェスティバル実行委員会 (株式会社海洋堂 内) 年二回(2,8月)	ガレージキット(キャラクターやロボットなどの模型)の展示即売会である。ファンによる自主製作のガレージキットの即売会であり、コミックマーケットと並び日本を代表するファンイベントである。個人作家も、模型を製作販売している企業と同列に置かれ、販売できるようになっている。企業、プロ、アマチュアの壁を取り払い、著作権処理も行うファンイベントである。
	ワールドホビーフェスティバル(WHF)* 各地域で年数回	東名阪の三地域において、ガレージキット、中古おもちゃの展示即売会を開催している。ワンダーフェスティバルと同様に、企業とアマチュアの個人が出展可能で、原作があるものについては当日著作権システムも完備されている。

資料：各 Web サイトより作成

\*：アンケートに対する回答を得られたイベント

### アニメ・マンガ関連イベントへのアンケート結果

「海外からの来場者が多いと思われる国籍」の1位については、回答のあった9社中、4社がアジア、3社がアメリカであった。また、上位3位までに挙げられた回答結果を集計するとアジア圏が13カ国、アメリカが3カ国、ヨーロッパ2カ国となっており、アジアからの来客が目立つ結果となっている。「個人旅行、団体旅行の割合」に関しては、展示会ではそのようなデータがないものの、ファンイベントでは個人旅行が目立つ結果となっている。

「海外からの来場者がイベントを知った経路」としては、イベント団体等のWebサイトが多く、雑誌・書籍という回答は得られなかった。「認知度」については、コミックマーケット、広島国際アニメーションフェスティバルなど、海外でも有名な催しを除くと、各主催者としても告知・認知が充分ではないと感じていることがわかる。

ほとんどの団体・企業では、日本での集客を第一に考えており、国内での宣伝活動に力を入れていると思われる。海外からイベントの詳細を知る手段はWebサイトのみで、外国語版が用意されているサイトは少ない。さらに、外国語に対応したスタッフの派遣や、パンフレット、案内表示の作成などを行っている団体は少なく、海外からの受け入れ態勢は万全とはいえない状態である。それでも国内からの来場者は多く、規模を年々拡大しているイベントもあり、海外での認知度が上がれば、さらなる集客が期待できる。

### コミックマーケットの海外来場者に向けた取り組み

海外からの来場者に対応しているイベントとしては、コミックマーケットと広島国際アニメフェスティバルの2つのみであった。

コミックマーケットは、日本独自のイベントとして認知度が高く、海外からの来場者も、世界における日本マンガ市場の成長とともに上昇している。そのため、特別な宣伝を行って、海外からの来場者を集めたというのではなく、海外からの来場者・取材の要請が増えたため、海外来場者への対応を行っているようだ。

正式な数値データは出ていないが、会場にはコスプレや同人誌の販売を楽しむ来訪者も見受けられ、いくつかの国からは、コミックマーケットを訪れるための団体ツアーも組まれている。日本マンガ・アニメ関連媒体による取材なども多く、外国語での取材にも応じている。また、パンフレットは、英語、中国語(北京語・広東語)、韓国語に対応しており、イベント会期中は、外国語に対応したスタッフが常駐している。このほか、海外ビジネス関係者の来場もあり、作品の買い付けや自社作品のプロモーションなどに訪れている。

### 広島国際アニメフェスティバルの海外来場者に向けた取り組み

広島国際アニメフェスティバルは、1985年から毎年1回行われているイベントで、海外から審査員を招き、世界各国から作品を募り、コンペティションを開いている。そのため、海外での認知度も高く、特に自主制作アニメのプロデューサーや研究者、配給会社など、ビジネス関係者の来場が多い。作品買い付けの交渉も行われるなど、市場としても機能している。その理由としては、主催者側がフェスティバルのディレクターを海外のアニメ映画祭に派遣し、積極的なプロモーション活動を行っているためと思われる。Web サイトやパンフレットも英語に対応したものがあり、会期中は外国語に対応したスタッフが常駐している。

#### < 参考事例 >

##### 広島市の取り組み

#### 1. 広島国際アニメーションフェスティバル

##### 概要

- ・ 開始年：1985年に第1回が開催される。(フェスティバルは隔年で開催)
- ・ 主催：広島市、(財)広島市文化財団
- ・ 運営主体：広島国際アニメーションフェスティバル事務局

##### 開催の経緯

- ・ 広島でのフェスティバルについては1984年、ASIFA(国際アニメーションフィルム協会)がフェスティバル開催を正式に要請。翌85年に第1回目が開催された。

具体的な取り組みの内容：活動内容、展示、イベント、情報発信

- ・ 世界各国のプロ・アマ問わずに応募された作品から優秀作品を選ぶコンペティション
- ・ 国内外の著名なアニメーション作家の作品や子供向けの作品などの特別プログラム
- ・ その他展示会、ワークショップ、プレゼンテーションなど

## 2. 広島アニメーションビエンナーレ

### 概要

- ・ 開始年：2004年（広島国際アニメーションフェスティバルの開催に合わせて第1回を開催）
  - ・ 主催：広島アニメーションビエンナーレ実行委員会
  - ・ 共催：広島経済同友会、広島商工会議所、広島県、広島市、ひろしま文化振興財団、広島市文化財団
- 開催の経緯
- ・ 広島経済同友会では、有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金を設立して、「アニメーションを核とした街おこし」に取り組んでおり、2004年の広島国際アニメーションフェスティバルの開催に合わせて第1回目を開催。2回目は06年に開催された。
- 具体的な取り組みの内容：活動内容、展示、イベント、情報発信
- ・ プロも競う広島国際アニメーションフェスティバルに対し、一般向けのイベントとなっている。
  - ・ 04年は人気映画関連の展示やアニメ音楽のコンサートなどを行った。
  - ・ 06年のメインは東映アニメーションの50年の歴史を振り返るイベントで、他にも美術館、デパート、商店街等で様々な催しが開かれた。

## 3. 広島アニメーションアカデミー

- ・ 広島経済同友会が有志企業からの寄付を募り、広島市立大学芸術学部との共同事業として行った公開講座で、広島におけるアニメーションを核とした映像文化の振興と、クリエイター育成が目的。
- ・ 2005年9月～2006年4月に計8回開講、講師陣は山村浩二氏、古川タク氏、松本零士氏など。

## 4. Habyクラブ

- ・ 04年3月、フェスティバルおよびビエンナーレの両事業をサポートする市民組織として誕生。
- ・ 広島を来訪するアニメーション作家や監督を囲んで、「クリエイターズ・カフェ・広島」によるクリエイターとの交流と、「アリスガーデンでアニメナイト」におけるアマチュアのアニメーション作品の募集・上映活動など、様々な取り組みで、「アニメーションのまち・広島」を、市民の手で実現していくことを目指す。

## 5. ポール・イマージュ・広島

- ・ 2005年4月、広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金を代表団体として3団体で結成され、2006年4月より17団体で構成されているネットワーク組織で、広島市立大学、Habyクラブ、地域科学研究所などが参加している。
- ・ 広島アニメーションビエンナーレ、広島国際アニメーションフェスティバルの両イベントと連携しつつ、アニメーション等を核とした集客交流サービス事業を通じ、広島における映像コンテンツ産業の育成、国内外からの集客交流を目的としている。

### < 参考資料 >

広島国際アニメーションフェスティバル <http://www.urban.ne.jp/home/hiroanim/>

広島アニメーションビエンナーレ <http://www.hiroshima-animation-biennale.jp/>

ポールイマージュ広島 <http://www.pole-image-hiroshima.com/>

(2) 地域のイメージキャラクターとしての活用

商店街等のイメージキャラクターから「大使」等と呼称され地域のPRなど一定の任を負うものまで、様々な形でキャラクターが活用されている。必ずしも地域外からの誘客に直接的に結びつくものではないが、アニメ・マンガを活かしたまちづくりの一環として、一定程度認知された取り組みとなっている。

図表2-4 地域のイメージキャラクターとしての活用例

使用キャラクター	取り組み主体	開始年	概要
のらくろ	江東区	H15	江東区文化親善大使に任命。
	江東区高橋商店街		地元「田河水泡・のらくろ館」開設を機に、「のらくろード」と称し、「高橋のらくろ音頭」やフラッグを作成。商店街でもキャラクター商品の開発・販売を行う。
サザエさん	世田谷区 桜新町商店街	S62	原作者長谷川町子が住みマンガの舞台でもある桜新町に、1985年に長谷川町子美術館が開館したことになみ、桜新町商店街振興組合が中心となり中通りを「桜新町サザエさん通り」に改称。マンガのキャラクターの看板などが飾られている。
鉄腕アトム	埼玉県新座市	H15	4月7日の誕生日を記念して、手塚プロダクションのある新座市が特別住民票を発行。
	新宿区 新宿区高田馬場商店街	H15	新宿未来特使に任命。 「アトム・ロード」と称し、街路灯への装飾や地域ぐるみの「アトム通貨」、JR高架下の壁画などの活動を行う。
ゲゲゲの鬼太郎	鳥取県	H18	作者水木しげる氏の出身地である同県境港市を妖怪の街としてPRし観光客誘致に貢献した実績から、県全体の観光PRのために鬼太郎を「とっとり妖怪観光大使」に任命。
赤塚不二夫	青梅市 住江町商店街		「昭和レトロ」のテーマに沿って、「青梅赤塚不二夫会館」の運営や関連イベント、アニメにちなんだビデオ大賞創設他。
ウルトラマン	世田谷区 祖師谷商店街		ウルトラマンのキャラクターをイベント等で使用、グッズ化して販売。
釣りキチ三平	秋田県増田町 (現横手市)	H15	連載開始から30年を記念して、本作の主人公・三平三平が矢口高雄の出身地である増田町民として住民登録された。
こちら亀有公園前派出所	葛飾区 亀有地区商店街協議会		地元9商店街が合同でキャラクター入り商店街マップを作成。
宇宙戦艦ヤマト	福井県敦賀市	H元	敦賀港開港100周年記念事業として「鉄道と港の町」のPRのために、JR敦賀駅前から伸びる中心商店街(シンボルロード)に、両作品の名場面を再現したモニュメント像を設置。
銀河鉄道999	北区滝野川馬場商店街		キャラクターをあしらったアーチ、商店街マップの絵看板などを制作。
機動戦士ガンダム	杉並区 上井草商店街		「アニメタウン井草」と銘打って、ガンダムフラッグやシャッターアートの制作、「かみいぐさアニメまつり」の開催等を行う。
クレヨンしんちゃん	埼玉県春日部市	H15	市のイメージキャラクターに採用、2004年には住民登録された。
	三重県	H15	幅広い世代が出演するクレヨンしんちゃん一家を観光イメージアップキャラクターに起用することで、効果的にわかりやすくバリアフリー観光のテーマを訴えることができる判断。フォトラリーなどのイベントにも利用した。

資料：各 Web サイトより作成

< 参考事例 >

世田谷区桜新町商店街

取り組みの背景

- 「サザエさん」の原作者長谷川町子氏が長年暮らし、作品の舞台も桜新町だったことと、商店街と隣接して「長谷川町子美術館」が開館（1985年）したことになみ、1987年に「中通り」と呼ばれていた通りを「サザエさん通り」に改称した。

具体的な取り組み内容

- 商店街のシンボルとしてサザエさんが使用され、街路灯の装飾旗やレジ袋にもデザインされている他、サザエさんをはじめとするキャラクターをあしらった看板が設置されている。
- 毎年夏に「サザエさんまつり」という1-2日間のイベントを開催している。夕方から夜にかけて、様々な出店が楽しめる。

- ・ 近年は、桜新町出身で現在も在住の漫画家やくみつる氏の絵を、イベントのポスターやグッズなどに使用している。
- ・ 世田谷区の「ショッピング・プロムナード整備事業」による整備が2004年に完了し、サザエさんをデザインモチーフにした柱パネル、サザエさん通りへの誘導サインを兼ねた装飾灯、車止め、修景パネルなどが設置されている。

<参考資料>

桜新町商店街 <http://www.sakurashinmachi.net/>

長谷川町子美術館 <http://www.hasegawamachiko.jp/>

東京都産業労働局 <http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/monthly/chusho/jireisyu2005.pdf>

### (3) キャラクターを活用した交通機関の運行

アニメやマンガのキャラクターは、鉄道や航空機など、交通機関の車体にしばしば描かれ、特に家族連れやディープなファン層に対してアピールしている。各種イベントやキャンペーンの開催にあわせて期間限定で運行されるケースも多いため、より一層、ファン心理に強く訴える結果になっているものと考えられる。

図表2 - 5 キャラクターを活用した交通機関の運行例

使用キャラクター	運 営	名 称	開始年	概 要
ドラえもん	JR北海道	ドラえもん海底ワールド (18年終了)	H10	夏休み期間中、吉岡海底駅で「ドラえもん海底ワールド」という展示を行う。期間中はドラえもんのデザインを施した「ドラえもん列車」が運行される。
銀河鉄道999	北海道ちほく高原鉄道	ふるさと銀河線(廃業)	H元	旧国鉄を引き継いだ第3セクターで、999のキャラクターのラッピング列車等で集客を測ったが経営が悪化、H18年に廃業となった。
	敦賀観光バス	ぐるっと敦賀 周遊バス	H18	商店街に両作品のモニュメント像を設置していることから、翌年3月31日までの土日祝限定運行の周遊バスの車体にイラストを描いている。
宇宙戦艦ヤマト				
石ノ森章太郎作品	JR東日本 仙台支社	マンガッタンライナー	H15	石ノ森萬画館を運営する街づくりまんぼう等の働きかけにより、駅舎を石ノ森作品のキャラクター満載の情報発信ステーションに改装。同年より、車体にキャラクターのデザインを施した列車「マンガッタンライナー」が土日祝日限定で運行。
釣りキチ三平	秋田中央交通	三平バス	H13	秋田中央交通の創業80周年を記念して、秋田市内を走る路線バスと貸しきりバスで、秋田県出身の漫画家・矢口高雄氏の代表作のキャラクターを車体と座席に描いている。
ポケットモンスター	ANA	ポケモンジェット	H10	ポケットモンスターのキャラクターが描かれたジェット機で、ターミナル便を中心に運行。シートカバーとカーテン、CAのエプロンの模様がピカチュウ。また、ドリンクが供されるカップも対象機限定のポケモン模様であり、搭乗記念に機体写真入り絵葉書がもらえる。布団カバーなどのオリジナル商品の販売も行っている。
	JR東日本	ポケモンスタンプラリー	H9	毎年夏休みの期間に行われるイベント。首都圏の駅で専用パンフレット兼スタンプ台紙を入手し、スタンプ欄に7駅のスタンプを集めてゴール駅に行くことで賞品がもらえる。
ワンピース	東京都交通局	ワンピース デッドエンドの スタンプラリー	H15	都営地下鉄の各駅で、スタンプラリー用の一日乗車券を購入しスタンプ帳を受け取る。スタンプが設置された16駅のうち、6箇所以上集めると、認定証と記念品がもらえる。
	JR西日本	「ワンピース」 春休みスタンプラリー	H18	春休み期間中に開催されたスタンプラリー。SMART ICOCA、ICOCAを持ち、主な駅で入手できるチラシにスタートスタンプ駅とゴールポイントの2つのスタンプを押すことで、JR西日本オリジナル「ワンピース」グッズが手に入る。
クレヨンしんちゃん	大阪市交通局	クレヨンしんちゃん スタンプラリー大作戦	H18	夏休み期間中のイベント。ラリー用の一日乗車券を販売、9箇所に設置したスタンプを全て押したら賞品がもらえる。



使用キャラクター	運 営	名 称	開始年	概 要
手塚治虫作品	JR西日本	手塚治虫 キャラクターワールド	H18	GW中に開催されたスタンプラリー。SMART ICOCA、ICOCAを持ち、主な駅で入手できるチラシにスタートスタンプ駅とゴールポイントの2つのスタンプを押すことで、JR西日本オリジナル「手塚治虫キャラクター」グッズが手に入る。
ゲゲゲの鬼太郎	JR西日本 米子支社	鬼太郎列車	H5	境港市の「水木しげるロード」の整備が始まった年に、JR境線の車体に妖怪のキャラクターを描いた電車が運行開始。現在はリニューアルされた鬼太郎などのデザインの列車が運行している。沿線の各駅にも種類ずつキャラクターが配されている。
	皆生温泉旅館組合	鬼太郎バス	H16	皆生温泉旅館組合と県、市の「皆生温泉にぎわい創出事業」の一環として開始された、皆生温泉を出発し、鳥取県境港を周遊する冬季の日・月曜日限定のバス。
	はまる一ふバス運 行事務所	はまる一ふバス	H18	市内を循環している100円バス。H18年8月より、鬼太郎のラッピングバスが登場した。
	隠岐汽船	鬼太郎フェリー	H18	隠岐ー境港間を一日一往復するフェリーの船体に『ゲゲゲの鬼太郎』を装飾した船。隠岐、境港の青年会議所や観光協会が寄付金を募って実現した。
アンパンマン	JR四国	アンパンマン列車	H12	作者やなせたかしの出身が高知県であることから、アンパンマンのデザインを施した列車・バスを運行している。
やなせたかし作品	土佐くろしお鉄道	ごめん・なはり線	H14	同社が運行する阿佐線、通称ごめん・なはり線の20駅のキャラクターはやなせたかし氏がデザイン、各駅のプラットフォームや車体にキャラクターが描かれている。

資料：各 Web サイトより作成

#### (4) 産業観光の視点でのアニメ・マンガの活用

アニメ業界は、アニメ制作プロダクションを中心に、マンガ出版社、映画会社、テレビ局、映像ソフトメーカーなどから構成され、アニメ制作プロダクションの団体として中間法人日本動画協会がある。マンガ業界は、約 4,000 人いるというマンガ家とマンガ出版社を中心に構成され、マンガ家の団体には日本漫画家協会、マンガジャパンなどがあるが組織率が低く、マンガ出版社は大手 10 社による親睦団体があるが公式のものではない。

現在、アニメ・マンガ業界が観光と直接的に結びつく取り組みとして行っているのは、集客施設としては「杉並アニメーションミュージアム」と「手塚治虫記念館」、三鷹の森ジブリ美術館」など個別の作家の展示施設、イベントとしては「東京国際アニメフェア」などがあるのみである。「杉並アニメーションミュージアム」、「東京国際アニメフェア」は日本動画協会が行政の支援を受け、「手塚治虫記念館」、「三鷹の森ジブリ美術館」などは個別のアニメ制作プロダクションなどが行政の支援で運営している。

一方、産業観光の可能性としては、アニメ制作プロダクション訪問や見学が考えられる。実際、海外の専門家や学生から、日本動画協会や個別のアニメ制作プロダクションには、こうした希望が寄せられているが、訪問や見学は極めて小規模に個別の事情が許す中で行われているのみである。第3章(3-2.)で述べるアメリカからのアニメファンの日本ツアーでも、アニメ制作プロダクション訪問・見学が組み込まれているが、個人的なつながりによる依頼で小規模に行われているに過ぎない。日本動画協会によると、自社を観光施設として見学させている会社はなく、業務への支障を来すため今後もそういった取り組みを積極的に行う会社はないものと考えられる。

アニメ業界では自社の観光訪問・見学が困難であるのみならず、日本動画協会やアニメ

製作プロダクションの関わる集客施設やイベントも数が限られ、日本のアニメやマンガの全貌が見られる場所がない。また海外からの観光誘致施策を行い、海外からの観光客に対応している施設やイベントも少ない。そもそもアニメ製作プロダクション、マンガ家や出版社は、アニメ・マンガを製作してその権利を保持することが業務の中心で、アニメ・マンガを活用した集客施設経営や集客イベント興行は別の事業者の依頼を受けて、権利料収入を得るのが通常である。このため、これまでは行政の支援による施設やイベントしか存在しなかった。今後、海外からの観光客に対応する集客施設や集客イベントを充実していくためには、アニメ・マンガ業界以外の資本、具体的には旅行業界側を巻き込んでこれらの取り組みを進めていくところからはじめることが必要である。

集客施設では、キャラクター商品メーカー「サンリオ」の経営による「サンリオピューロランド」が国内唯一の日本製キャラクターによるテーマパークで、そのほかは美術館形式のものである。日本動画協会が杉並区から運営委託を受けている「杉並アニメーションミュージアム」では十分な海外観光客対応がされているとは言えない。また、行政から土地の提供を受けているとはいえ「三鷹の森ジブリ美術館」はアニメ製作プロダクション「スタジオジブリ」の直営に近い珍しいケースだが、予約制の枠はほぼ満杯の状態、海外向けにもチケットを販売しているがこれ以上増やせない状況である。このほかの「手塚治虫記念館」などアニメ・マンガ関連ミュージアムでも海外からの観光客は増えているが、充分に対応できていない状態といえる。こうした施設の情報交換を行う協議会などを作り共同で誘致と対応を検討するとともに、海外に対して Web サイトなどで共同の広報を行うなどが必要とされている。

イベントでは「東京国際アニメフェア」をはじめ、いくつかの団体が行う展示会形式のものがある。「東京国際アニメフェア」では海外からのバイヤーなど、ビジネス集客は行われているが、他のイベントも含め海外のエンドユーザーの集客まで手が回ってはいない。海外で開催されるこれらの展示会はファン、エンドユーザーが 10 万人単位で来場するものも少なくないことから、日本国内で開催されるイベントの見学をコースに組み込んだ時限的な日本ツアーを組めば集客力はあると考えられる。ここでもアニメ・マンガ産業界と旅行業界の協働によるアニメ・マンガをテーマとしたツアー商品開発が望まれる。

また日本のアニメ・マンガをテーマとした集客イベントには、キャラクターショーの派遣や、劇場でのキャラクターショーの興行、仮設のキャラクターイベント&ショップなどがある。これらはいずれも国内の主に子供やファミリーを対象に行われているが、旅行業界が恒常的に海外から集客し、これらのイベントをオプションコースなどに組み込めば、ビジネスとして成立可能と考えられる。海外観光客向けの芸者ショーの組み込まれた観光コースのような営業形態である。

以上の国内でのアニメ・マンガと海外からの観光の協働以外に、海外での日本への観光動機付けにアニメ・マンガを活用する方法が考えられる。

その一つが、海外でのアニメの映画公開、テレビ放送、映像ソフト発売、翻訳マンガ本

出版の機会を捉えた、日本観光促進のキャンペーンのしくみである。これらの日本アニメ・マンガが海外のファンの目に触れる機会を捉え、映像のPRやチラシの配布などにより、「抽選で日本への旅行があたる、日本への旅行の魅力PRキャンペーン」を行う、などの方法が考えられる。これらは個別の旅行業者と個別のアニメ製作プロダクションの間では、仕組みづくりが困難で、また単発では効果も薄いところから、政府の支援・コーディネートの下、アニメ・マンガ産業界と旅行業界の協働で、全世界的な展開が望まれる。

また、日本でも海外でもアニメ・マンガ周辺文化はファンが作り上げるものという、側面がある。これらコスプレや、コミケ、メイド喫茶などのベンチャー的な担い手を海外に進出させ、これらの魅力で日本の観光に集客することも考えられる。たとえばコスプレのコスチュームメーカーとコスプレのファン、コミケの主催者と出展者、メイド喫茶の事業者とメイドなどを海外のイベントに派遣し、日本観光をPRするなどの手法である。

以上、現状ではアニメ・マンガをテーマとした産業界の受け入れ体制は充分とはいえず、アニメ・マンガ業界の活動には限界がある。このため旅行業界とアニメ・マンガ業界の連携による施策が必要とされている。

#### < 参考事例 >

##### 三鷹の森ジブリ美術館

###### 設立の経緯

- ・ 三鷹市、(株)徳間書店、日本テレビの3者が設立した(財)徳間記念アニメーション文化財団が管理運営し、整備段階においては「三鷹市立アニメーション美術館(仮称)による街づくり推進協議会」を設置、同館を核とした地域振興に関しても検討した。
- ・ 計画敷地が都市公園内であるために、民間の施設を設置することは事実上困難であることから、美術館は、三鷹市の公の施設(市立美術館)として設置されることになった。

###### 活動方針

- ・ 「優れたアニメーション作品の展示及び検証並びに次世代を担う子ども達へのアニメーション作品を通じたメッセージの発信を行うことにより、心豊かな地域社会の形成に寄与する」ことが目的である。

###### 取り組み内容

- ・ 市民が美術館に親しめるよう、三鷹市在住・在勤・在学者を対象とした「三鷹市民特別枠」が1日100枚限定で販売されている。
- ・ JR三鷹駅と美術館を経由するコミュニティーバスにジブリが外観をデザインした車両を採用。また宮崎駿氏デザインのオリジナルキャラクター「ポキ」を生かした商品を開発。美術館近隣の三鷹市産業プラザ内に三鷹産商品の販売や観光情報等の発信を行う「ポキショップ」を開設。
- ・ 三鷹駅から美術館までの玉川上水沿いの道は「風の散歩道」と名づけられレトロな雰囲気整えられ、周辺に店舗が増えるなど、地域活性化に寄与している。
- ・ NPO法人コミュニティー・サポーターズがアニメと地域振興に関する取り組みを進めている。

#### < 参考資料 >

三鷹の森ジブリ美術館 <http://www.ghibli-museum.jp/>

コミュニティー・サポーターズ <http://www.comsup.jp/>

## 2 - 4 . アニメ・マンガに関する研究教育機関の概況

日本国内にはアニメ・マンガに関する多くの大学レベルの教育機関が存在する。少子化が進む中で地域との新たな関係性構築が求められている大学は、観光振興やまちづくりといった観点から今後地域とより積極的に関わっていくことになると考えられる。アニメ・マンガに関連する大学についても、体験プログラムの提供を初めとして、様々な形での地域連携策が模索されることと想定される。

図表 2 - 6 アニメ・マンガを専門に扱う大学・短期大学

大 学	学 部・学 科	所 在 地	学 部・学 科 の 概 要
桐生短期大学	アートデザイン学科 マンガ・イラスト・絵画コース	群馬県みどり市	マンガ・イラストレーションなどの新しい芸術や、油彩・水彩・版画などの純粋芸術まで幅広く学ぶ。
文星芸術大学	美術学部 美術学科機能芸術領域 マンガ専攻	栃木県宇都宮市	漫画家としての人材育成(カリキュラム:デッサン工芸・彫刻等)。
筑波学院大学	情報コミュニケーション学部 情報メディア学科 メディア・デザイン系	茨城県つくば市	コンピュータを駆使した制作活動(ゲームデザイン、マンガ、映像、音楽など)を通じて、自分のイメージをしっかりと形にできる表現力を養う。
秋草学園短期大学	文化表現学科(H19年新設)	埼玉県所沢市	表現力と想像力の母体となる確かな日本語力の育成をベースに、表現文化の専門性をはじめ、すべての職業で活躍できる“ひと”を育成。
東京家政学院大学	人文学部 文化情報学科 マンガ・アニメ文化コース(副専攻)	東京都町田市	広くビジネス、教育、医療、福祉、行政、その他各種産業分野において、マンガ・アニメの技法を活用して情報伝達・表現のできる人材を養成する。
武蔵野美術大学	造形学部 映像学科 映像表現コース 芸術文化学科	東京都小平市	映像学科ではアニメーションとCGの壁をなくし、広義のアニメーション制作を目指す。芸術文化学科では造形学概説の中でマンガについて研究。
東京造形大学	造形学部 デザイン学科 アニメーション専攻領域	東京都八王子市	産業と芸術両面を視野に入れ、自立した作家性の養成を目指し、「アニメーション」の新たな可能性を探る。
横浜美術短期大学	造形美術科 映像メディアデザインコース	神奈川県横浜市	アニメーションや映像表現、webデザイン、CG表現を基盤に、最先端の表現技術を習得。研究テーマに適応した、より高度な表現を目指す。
女子美術大学	芸術学部 メディアアート学科	神奈川県相模原市	最先端テクノロジーを表現のツールとしてメディアを体系的に理解した創作活動ができる人材の育成。大学として杉並区アニメ産業支援を検討中。
東京工芸大学	芸術学部 マンガ学科(H19年新設) アニメーション学科 アニメーションコース	神奈川県厚木市	新設のマンガ学科では多彩な指導陣を迎え、マンガを核として、幅広い教養や高度な知識、技術、志までをも育む充実したカリキュラムを用意。 アニメーション学科では1年次で基礎科目を学び、各々の適性に応じて2年次、3年次より専門領域にしほりながらスキルアップしていけるようなカリキュラムが組まれている。
大垣女子短期大学	デザイン美術科 マンガコース	岐阜県大垣市	マンガ出版社への持込ツアーや漫画家を招いての特別講義など、実践的な内容。
金城大学短期大学部	美術学科 マンガ・キャラクターコース	石川県白山市	デザインの基礎的能力やCG・デジタルデザインについても学ぶ。公開オーディションの実施など実践的な内容。
成安造形大学	造形学部 デザイン科 CG・アニメーションクラス (H19年新設)	滋賀県大津市	多様で専門的なアニメーション表現技術を学び、幅広い知識と視野の広がりを持った映像クリエイターの育成を目指す。
京都造形芸術大学	芸術学部 情報デザイン学科 イラストレーションコース キャラクターデザイン学科 アニメディレクションコース(H19年新設)	京都府京都市	技術者ではなく、トータルな企画力と構想力、アニメーションを基盤とした新しい表現を生み出す思考力と想像力を身につけたクリエイターの育成を目指す。
京都嵯峨芸術大学	芸術学部 メディアデザイン学科 映像・アニメーションコース (H19年新設)	京都府京都市	デジタル配信に対応した独自の表現世界を構築できるコンテンツクリエイターや映像・アニメーション作家を育成。
京都精華大学	マンガ学部 マンガ学科 アニメーション学科 マンガプロデュース学科	京都府京都市	マンガのあらゆる表現スタイルをカバーし、作家・クリエイターはもちろん、編集者、プロデューサー、研究者の育成も視野に入れた教育を行う。
大阪成蹊大学	芸術学部 情報デザイン学科 アニメーションコース	京都府長岡京市	現代的な課題を見つける力を養い、訴求力のあるコンテンツとストーリーを生む柔軟な発想力と表現能力を身につける。
神戸芸術工科大学	先端芸術学部 メディア表現学科 まんが・アニメーション専攻	兵庫県神戸市	実務的な技術だけではなく、受け手に伝わるものづくりができる表現者としての基礎を養い、業界で広く活躍できるクリエイターを目指す。

大 学	学 部・学 科	所 在 地	学 部・学 科 の 概 要
大阪芸術大学	芸術学部 キャラクター造形学科 マンガコース アニメーションコース	大阪府南河内郡 河南町	マンガコースではクリエイターとしての知識や技術の学修だけでなく、プロデューサーやディレクターとしての視点も併せて養えるように、漫画に関する編集や批評の方法も学ぶ。漫画誌の発行も行う。アニメーションコースでは国内外のビジネスの現状と仕組みなども学び、未来の表現についての知識なども併せて習得。
宝塚造形芸術大学	メディア・コンテンツ学部 映像造形学科 マンガコース アニメーションコース	兵庫県宝塚市	漫画家、アニメーター、ゲーム・CGデザイナー、プロデューサー、アートディレクター、編集者などのクリエイターの養成。
大手前大学	メディア芸術学部 マンガ・アニメーションコース	兵庫県西宮市	マンガの広い知識を体系的に学び、描く力の基礎を身につけ、作画、構成の技術を学ぶ。
倉敷芸術科学大学	芸術学部 映像・デザイン学科	岡山県倉敷市	次世代ビジュアルコミュニケーションをリードする、映画・アニメーション・グラフィック・Webのスペシャリストを育成。
徳山大学	経済学部 ビジネス戦略学科 知財開発コース	山口県周南市	マンガやアニメの表現方法について学ぶほか、コンテンツが持つ知的財産についての法的な問題やビジネスへの展開についても取り上げる。
別府大学	文学部 芸術文化学科 マンガ・アニメーションコース	大分県別府市	インターネット・ゲーム・放送などのコンテンツ制作のできる人材を育成する。

資料：各 Web サイトより作成

図表 2 - 7 カリキュラムの一部としてアニメ・マンガを扱う大学・短期大学

大 学	学 部・学 科	所 在 地	学 部・学 科 の 概 要
東北芸術工科大学 大学院仙台スクール	芸術工学研究科 デザイン工学専攻 コンテンツ・プロデュース領域	宮城県仙台市	東北発のコンテンツを創造発展させていくことを理念とし、製作者(プロデューサー)および創作者(クリエイター)の育成を目的とする。
東京大学	大学院情報学環 新領域創成科学研究科「コンテンツ創造科学産学連携教育プログラム」	東京都文京区	第一線で活躍するクリエイターを講師として招き、産学一体となって国際競争力を持った人材の育成を目指す。社会人も対象。
日本大学	芸術学部 映画学科 映像コース アニメ制作グループ	東京都練馬区	コンピュータやアニメーション撮影機の活用等、創造と理論の両面を重視しながら実践力を身につけ、メディアの最新動向などの知識も学ぶ。
多摩美術大学	美術学部 グラフィックデザイン学科	東京都八王子市	3年次に広告コース、伝達コース、写真とイラストレーション、アニメーションなどの表現技術と理論を学ぶ表現コースの3コースの中から選択。
東京工科大学	メディア学部 エンタテインメント・メディア・コース	東京都八王子市	アニメやコンピュータゲーム、テレビ、映画、音楽、Webデザインなど、多様なデジタルコンテンツの制作・活用を学ぶ。
静岡文化芸術大学	デザイン学部 メディア造形学科 映像デザイン系	静岡県浜松市	アニメーションを基礎として、新しい表現を生み出す思考力と想像力をつけたクリエイターを育成するコース。
中京大学	情報理工学部 情報メディア工学科	愛知県豊田市	情報に関する工学分野と理学分野を融合した新しいメディア技術に対する産業社会からの要請を背景として、多様なメディア処理技術を学ぶ。
金沢学院大学	美術文化学部 情報デザイン学科 映像コース	石川県金沢市	シナリオや絵コンテから始め、3DCG制作技術を学ぶ。
立命館大学	映像学部(H19年新設)	京都府京都市	アート、テクノロジー、ビジネスを総合するアプローチで映像分野におけるプロデュース能力を育成し、映像文化を創造する人材の育成を目指す。
岡山県立大学	デザイン学部 造形デザイン学科 IT コンテンツデザインコース	岡山県総社市	次世代ビジュアルコミュニケーションをリードする、映画・アニメーション・グラフィック・Webのスペシャリストを育成。

資料：各 Web サイトより作成

< 参考事例 >

**大手前大学 人文科学部メディア・芸術学科マンガ・アニメーションコース**

設立の背景

- ・ 2005年に従来の美術学科がメディア・芸術学科に名称変更しマンガ・アニメーションコースを開設。具体的な取り組みの内容
- ・ 理論から実践まで総合的な理解と創造力を身につけることを目標とする。アニメーターの大塚康生氏が塾長を務める「アニメ塾 EX」カリキュラムの採用などユニークな試みもある。
- ・ 分野はマンガ、アニメ、マネージメントの三つに分かれ、3年生まではマンガとアニメーションの双方について学び、4年生になるにあたって専門を決める。
- ・ 人文科学部内に設置されているため歴史や国際文化なども学べ、創作の助けとなることが期待されている。2007年度より、「総合文化」「メディア・芸術」「現代社会」の3学部体制へ改組し、自分の目標に合わせて学ぶ「ユニット自由選択制」を採用予定である。

< 参考資料 >

大手前大学 [http://www.otemae.ac.jp/gakubu/media/course\\_manga.html](http://www.otemae.ac.jp/gakubu/media/course_manga.html)

**神戸芸術工科大学 先端芸術学部メディア表現学科まんが・アニメーション専攻**

設立の経緯

- ・ 2006年、先端芸術学部が開設。メディア表現学科は写真・CG、映画、まんが・アニメーションの3専攻で構成。具体的な取り組みの内容
- ・ 演出法・構成力、まんが・アニメーションの歴史など基礎知識を学んだ上で、技術的なトレーニングを行う。
- ・ アニメーション制作会社での研修や編集者によるネーム指導など、プロのクリエイターや関係者からの指導を受けることができる。

< 参考資料 >

神戸芸術工科大学 <http://www.kobe-du.ac.jp/media/index.htm>

**徳山大学 経済学部ビジネス戦略学科知財開発（マンガ・アニメ・造形）コース**

設立の経緯

- ・ 2004年開設。経済学部でマンガやアニメを学ぶコースとしては全国初。具体的な取り組みの内容
- ・ 新設されたコースはマンガ・アニメなどの“コンテンツ”を開発し、「知的財産」としてビジネスに展開する新しいコース。マンガ、アニメ、CGの技術及び、それら知的財産に関わるビジネスに必要な知識やノウハウを身に付ける。
- ・ 現役の漫画家や映画監督、知的財産権の専門家などを教授・講師陣に迎える。
- ・ コース新設を記念して2005年から毎年夏にマンガ・コンテストを開催。また大学図書館内に蔵書数5,000冊のマンガ資料館も開設した。

< 参考資料 >

徳山大学 <http://www.tokuyama-u.ac.jp/keizai/chizai.htm>

## 2 - 5 . アニメ・マンガに関する情報発信の概況

### 旅行ガイドブック

海外で出版されている旅行ガイドブックの内、日本のアニメ・マンガを紹介しているものはまだ少ない。しかしながら、旅行ガイドブックとして世界一のシェアを誇ると思われる「Lonely Planet」シリーズの他、「Time Out」シリーズの「Tokyo」編でも比較的詳しくアニメ・マンガを含む日本のサブカルチャーが紹介されている。

また、アニメ・マンガ分野に特化したガイドブックも国内外で出版されており、特定のファン層の間ではこうした情報が求められていることが伺える。以下にその事例を示す。

図表 2 - 8 日本のアニメ・マンガ関連情報を紹介している旅行ガイドブック

タイトル	言語	内容
Cruising the Anime City an Otaku Guide to Neo Tokyo	英語	<p>地域や店舗等の紹介もあるが、旅行ガイド的な内容よりもむしろオタク文化の紹介に重点が置かれている。「マンガ」、「おもちゃ」、「アイドル」、「アニメ」、「ゲーム」、「映画」、「コスプレ」、「コミケ」、「プラモ」の9柱で構成。それぞれの章で紹介しているのは以下の通り。</p> <p>【マンガ】 まんだらけ、とらのあな、タコシエ、GeraGeraまんがカフェ、マンガ雑誌の路上販売 各店舗の項目では、店舗の所在地や概要、スタッフへのインタビュー、扱っている商品等が写真付きで紹介。</p> <p>【おもちゃ】フィギュア、ガチャボン、バンダイミュージアム、ドローラ（アニメキャラのマスクを被ったコスプレ）</p> <p>【アイドル】モーニング娘。、マルベル堂、ハロー!プロジェクト、BUBKA</p> <p>【アニメ】 東映アニメーション、ガンダム、アニメにしばしば登場するロケーション 東映アニメーションについては、所在地、歴史、制作作品の紹介の他、アニメーションギャラリーやショールームの紹介がある。またアニメ産業界の低賃金、人材不足、海外発注の増加等の問題点についての記述もある。</p> <p>ガンダムについては、大阪日本ましにある専門店の紹介に始まり、松戸のバンダイミュージアムや上井草のサンライズや商店街のフラッグ、杉並・三鷹周辺の制作会社や杉並アニメーションミュージアムについても簡単に触れられている。</p> <p>ロケーションとして紹介されているのは東京タワー、渋谷・原宿、新宿、京王線・聖蹟桜ヶ丘、鎌倉、横浜、東京ビッグサイト・お台場で、それぞれが登場する作品とアクセス方法が記載されている。</p> <p>サイト「全国ロケ地マップ」についても紹介されている。</p> <p>【ゲーム】三オボックス、ギャルゲーム、タイトーステーション、セガジョイボリス、パチンコ店</p> <p>【映画】 映画館、アベノスタンプコイン（神田神保町）、ビデオマーケット（新宿）</p> <p>【コスプレ】黒滝番（女性コスプレヤー）、カフェメイリッシュ（秋葉原のメイドカフェ）、キグルマー</p> <p>【コミケ】 コミケ、同人誌 コミケでは2003年冬のコミケの様態を体験レポートの形で報告。その他コミケの規模や歴史、扱われている商品やコスプレの様子などを紹介している。</p> <p>同人誌の項目では、前項の03年のコミケで購入した同人誌を紹介。</p> <p>【プラモ】 血祭摩利（プラモコレクター）</p>
		<p>風俗紹介として「オタク」「萌え」「秋葉原」「新宿」のコラムがある。</p> <p>オタクの項目では、オタクの起源・特徴などを紹介。</p> <p>萌えの項目では、その意味や起源、使い方などを解説。</p> <p>秋葉原についてはラジオ会館等町並みの紹介や歴史の解説。</p> <p>新宿の項目では、歌舞伎町の風俗について紹介している。</p>
		<p>地図は「中野ブロードウェイ」、「秋葉原」、「コミケ」、山手線を中心とした東京周辺地図がある。</p> <p>中野ブロードウェイの地図では、各フロアのガイドマップでオタク関連商品を扱う店を黄色に塗って目立たせた上で、店舗名・電話番号・扱う商品を写真付きで紹介。</p> <p>秋葉原では駅周辺の地図と、オタク関連商品を扱う店舗の店名・電話番号・扱う商品をジャンル別にリストアップしている。</p> <p>コミケでは2003年冬のコミケのフロアマップを掲載。</p>
マニアック東京	韓国語	<p>マンガ、アニメ、同人、映画、音楽、アイドル、メイドカフェなど東京のあちこちに隠れているマニア名所を紹介する東京案内書。東京地域別地図と東京地下鉄、地下鉄路線図を収録しながら各名所の位置はもちろん、写真と説明がついている。</p> <p>●東京マニアツアー 秋葉原ー秋葉原駅周辺、オタ街、アジアンサイバー街／神田ー水道橋／神田駅周辺／上野ー上野駅周辺／アメ横／新宿ー東口・西口・南口／高田馬場ー高田馬場駅周辺・早稲田通り／原宿ー竹下通り・明治通り／中野ブロードウェイ／お台場ー中央区、ウエストサイド、イーストサイド／千葉ー千葉駅周辺、千葉中央駅周辺、幕張メッセ、葛西臨海公園／東京駅八重洲／三鷹ジブリ美術館</p> <p>●Sleep in Tokyo 東京の推薦ホテル</p> <p>●マニアニュース 秋葉原は今変化している！／アニメ店長／人気絶頂！メイドマンガBEST5／戦略型ボードゲーム／日本は今カラオケ戦争中／インターネットカフェとマンガ喫茶</p> <p>●マニアの知識 メイドカフェ／リアルドール／日本の南大門市場 アメ横／アトムと高田馬場／ガチャボン／コスプレの元祖 竹の子族／クレベの話／千葉のモノレール、千葉の韓国人たち</p> <p>●東京詳細地図 秋葉原・神田・上野・高田馬場・原宿・新宿・池袋・渋谷・お台場・中野ブロードウェイ・千葉 東京地下鉄／鉄道路線図・千葉鉄道路線図</p>

タイトル	言語	内容
小説と映画を訪ねる 日本旅行	韓国語	韓国で話題になった日本の文学や映画作品(アニメを含む)の舞台になった18ヶ所を案内している。大都市や著名な観光地中心の従来のコースとは違った日本の姿を紹介する。 1 北海道 「ラブレター」の舞台:小樽/「鉄道員」の舞台:幾寅/「氷点」の舞台:旭川 2 東京・関東 「喪失の時代」の舞台:東京/「4月の物語」の舞台:東京、国立、幕張/「となりのトトロ」の舞台:東村山/「スラムダンク」の舞台:東京/「耳をすませば」の舞台:多摩/「千と千尋の神隠し」の舞台:小金井/「踊る大捜査線」:お台場 3 関西・四国・九州 「もののけ姫」の舞台:屋久島、白神山地/「世界の中心で愛をさけぶ」の舞台:庵治町/「坊ちゃん」の舞台:松山市/「鉄腕アトム」の舞台:宝塚市 4 東北・中部 「今、会いに行きます」の舞台:北杜市、諏訪市/「雪国」の舞台:越後湯沢市/「おしん」の舞台:酒田市
JAPANESE COMICKERS	英語	コミックを描いているアーティストの最高の仕事の簡潔な伝記、最も代表的な仕事とギャラリーを含めます。最後の章は、産業または「日本のComickersの木」の名前と日本のコミック/アニメ具体例に独特の用語集に加えて、各アーティストが使う芸術材料に関する情報を提供。
DK Eyewitness Travel Guides Japan	英語	「コギャル」から「歌舞伎」まで日本文化を紹介するコラムが充実している。
もえるるぶ 東京案内2006年度版	日本語	構成は秋葉原エリアを中心に紹介したもの、池袋エリアを中心に紹介したもの、カテゴリ別に東京案内したものに分かれている。 【秋葉原】 女性タレントを起用し、同人誌専門店、メイド喫茶、フィギュアなどの販売店を紹介している。また、メイド喫茶で働くウエイトレスの紹介や、萌え系アニメによる「新アキバ勢カマッパ」があり、紹介されているスポットとしては、「データタタ街」「アジアンサイバーエリア」「カウンターヲタ街」「中央通りエリア」「電気街」。アキバの整地と称される「ラジオ会館」を始めとした萌え系の店舗の紹介もある。また、「メイドラックス」と称したメイドが施術してくれるサロンの紹介や、オタク向けメディア店の紹介、コレクター系向けのフィギュアを始めとする店舗の紹介、コスプレ&同人備品系店舗、アミューズメント系店舗の紹介がある。秋葉原エリアのグルメは「ボリュームミー&味が命のアキバご飯」というタイトルで紹介されており、どんぶりものやラーメン、カレーなどを提供する店が紹介されている。 食べ歩きのための軽食はケバブ、おむすび、たこ焼き、クレープが各店舗と共に紹介されている。 秋葉原ならではの持ち帰りみやげ(グルメ)として、自動販売機のおでん、ひよこ屋のラムネ、キュアメイドカフェのメイド型クッキー、コミックとらのあなの虎焼、ご当地キティ、松屋で販売されているどら焼きの袋に自分の好きなイラストを1個20円でプリントできるどら焼きなどが紹介されている。 ..... 【池袋】 サンシャインシティ周辺の「乙女ロード」と呼ばれる近辺を主に紹介している。「腐女子のための池袋講座 乙女ロードの歩き方」と称してルートを提案している。「K-BOOKS」を始めとする同人誌の店舗を店長のコメント付きで紹介している。また、乙女ロードでのアンケート結果も掲載している。また「もえショップ」と称して7店舗をアニメのイラストとコメント付きで紹介している。 ..... 【東京その他エリア】 テーマ別に「メイドカフェ」(7店舗)メイドがいるお店(7店舗)、萌え系といわれる商品がなんでも揃う総合店(7店舗)、オタク向けメディア(15店舗)、コレクター系(15店舗)の紹介。 中野ブロードウェイを取り上げ、「まんたらけ本店」「まんたらけコスプレ館」「まんたらけカード館」「まんたらけスペシャル」「まんたらけ変や」「まんたらけDEEP館」「まんたらけLIVE館」が紹介されている。それ以外には、ゲームソフトを扱う「トマトランド」やメイドゲーセン、メイドカフェ、女性ものの小物や洋服を販売している「プチバリ」などテナントの紹介がある。 バンダイミュージアムも取り上げ、「ガッツダムミュージアム」「キャラクターワールド」「G-base」「萬代屋」に分けて紹介している。 国際展示場で開催される同人誌関係のイベントの紹介や、アニメ・ホビー関係のイベントの紹介もある。イベントでよく使用される国際展示場周辺のグルメガイドや「ひとり&打ち上げご飯」と題して一人でも入店可能な店舗紹介や、仲間同士で打ち上げ可能な国際展示場近辺の飲食店、イベント参加の際の宿泊施設、カラオケ、漫画喫茶の紹介、コミケの際の大混雑を回避する交通ルートの案内がされている。

資料：各資料、Web サイトより作成



## 2 - 6 . アニメ・マンガを目的とした訪日ツアーの概況

図表 2 - 9 に示す 7 ヶ国・地域における、日本アニメファンを対象にした訪日ツアーの有無と催行状況を把握するため、アニメ・マンガ関連業者 13 社、アニメ・マンガ同好会 1 団体、そして旅行業関連企業 8 社、全 22 社 1 団体を対象にヒアリング調査を行った。質問の内容は、日本観光関連事業の有無、具体的なコース例と値段のほか、観光事業を行っていない企業には、今後観光事業を行う意思があるかどうかなど 7 項目について質問した。

図表 2 - 9 ヒアリング調査を行った企業

国名	ヒアリング先企業	業種	日本観光事業の有無	所在地	概要
アメリカ	Digital Manga	出版業	有	ロサンゼルス	日本のマンガ関連書籍の出版
				http://www.digitalmanga.com	
イギリス	Neo	出版業	無	ロンドン	格闘技と日本マンガ・アニメの専門誌を発行
				http://www.neomag.co.uk/subscribe.asp	
	London Anime Club	日本アニメ同好会	有	ロンドン	会員約 200 名のロンドンで一番会員数の多い同好会
	H.I.S. London	旅行業	有	ロンドン	日系旅行会社ロンドン支店
http://www.his-euro.co.uk/index.htm					
フランス	Kaze	DVD 制作会社	無	パリ	日本のアニメ DVD を制作。版權販売も行い、フランスで一番の規模
				http://www.kazeparis.com/	
	Japan Expo	イベント主催者	無	パリ	日本のマンガ・アニメ・ゲーム・古典文化等をイベントで紹介
				http://www.japan-expo.com/en/index.php	
	Animeland	出版業	無	パリ	日本アニメ・マンガの紹介専門誌を発行。毎月 7 万部発行している
				http://www.animeland.com/index.php?rub=home	
JNTO	旅行関連	有	パリ	国際観光振興会パリ観光宣伝事務所	
http://www.jnto.go.jp/					
Euro Japan Comics	市場調査 イベント企画会社	有	パリ	日本マンガ・アニメ、J ポップなど日本文化の市場調査、イベント企画	
			http://www.eurojapancomic.com/index.shtml		
台湾	尖端出版	出版業	無	台北市	日本マンガ関連雑誌等の出版
				http://www.spp.com.tw/spp2006/all/sitemenu.htm	

	(企業名不明)	旅行業	無	台北市	台湾系旅行会社
	(企業名不明)	旅行業	有	台北市	台湾系旅行会社
	(企業名不明)	旅行業	無	台北市、台中市	台湾系旅行会社
香港	Jade Dynasty	出版業	無	香港	日本製マンガ、香港製マンガの出版 <a href="http://www.hk970.com">http://www.hk970.com</a>
	(企業名不明)	出版業	有	香港	マンガ、小説、児童雑誌、旅行ガイドを発行
	Culturecom Ltd.	出版および IT 関連業	無	香港	日本マンガの出版および IT 関連事業 <a href="http://www.culturecom.com.hk/">http://www.culturecom.com.hk/</a>
	JP Window	旅行業	有	上海市	日本ツアーの企画、運営、販売など <a href="http://www.jpwindow.com/">http://www.jpwindow.com/</a>
中国	(企業名不明)	旅行業	有	上海市	中国系旅行会社
	(企業名不明)	旅行業	有	上海市	中国系旅行会社
韓国	KOKO Enterprise	海外アニメ配給	無	ソウル市	海外アニメ、キャラクター、ゲームなどのライセンスおよび配給 <a href="http://www.kokoemt.com">http://www.kokoemt.com</a>
	Daiwon C. I Inc.	出版業	無	ソウル市	日本マンガの輸入および出版 <a href="http://www.daiwon.co.kr">http://www.daiwon.co.kr</a>
	Iconix Entertainment	ライセンサー	無	ソウル市	日本キャラクターの韓国販売 <a href="http://www.iconix.co.kr">http://www.iconix.co.kr</a>

#### (1) 旅行関連企業の日本観光事業

今回調査を行った各国の旅行関連企業 8 社のうち、6 社が日本へのツアーを実施している。ツアーの内容としては、東京、大阪、京都などの大都市圏に滞在し、ディズニーランドや浅草・京都などの歴史的地区へ訪れるといったもので、アニメ・マンガをテーマにしたツアーを実施している企業はなかった。

今後の可能性として考えている企業も、中国の JP Window というサイトを運営している企業 1 社のみである。この企業は、日本に支社をもち、古典からポップカルチャーを含めた日本文化の紹介や最新情報、交通機関の利用方法など、日本旅行に関する詳細な情報を提供している。ユーザーからは、アニメフェアの行き方などについての問い合わせなどが多く、今後、アニメ・マンガに特化した 5 日間のツアー（7 万 5,000 円～15 万円）を企画し、青年層からの参加者を募る予定となっている。

このほか、日本のアニメ・マンガについての問い合わせ等を受けたという企業はなく、今後アニメ・マンガに特化したツアーを組む予定をもっている企業もなかった。

## (2) 日本のアニメ・マンガ関連企業の日本観光事業

マンガ関連書籍を出版する企業や、アニメの配給会社など、日本のアニメ・マンガに関する13社の企業では、現在日本観光事業を積極的に行っている企業は少なく、アメリカのDigital Manga とフランスのEuro Comic Japan の2社、イギリスのアニメファン同好会1団体のみであった。

また、日本への観光事業を行っていない企業11社のうち、3社(尖端出版/台湾、マンガガイドブック出版社/香港、Neo/イギリス)は、今後ユーザーに向けた観光事業を行いたいと考えているという回答があった。具体的な内容については検討中とのことだが、コスプレイベントやコミケ、アニメフェアと同時期に読者を対象としたツアー企画や、OTAKU ツアーという名前を付け、秋葉原、アニメ関連施設(三鷹の森ジブリ美術館)と、浅草や渋谷などの観光スポットを組み合わせたツアーの企画が挙げられている。

一方、香港の出版業社の中には、香港から日本への渡航費は比較的安く、日本のアニメ・マンガファンはほとんどの人が訪日した経験をもっており、香港企業が企画した日本のアニメ・マンガツアーに参加する人は少ないのではないかといった意見もあった。このほか、訪日観光事業には積極的に協力していきたいが、ツアーのノウハウもないため、旅行業者と協力して、企画やプロモーションを行いたいと考えている企業が多く見られた。

< 参考事例 >

**Digital Manga (アメリカ) と Euro Japan Comics (フランス) のツアー例**

1. Digital Manga の日本観光ツアー

前述のとおり、アニメ・マンガに関連した旅行事業を行っているのは、2社のみである。

そのなかの1つである Digital Manga は、2000年に笹原光氏が設立した企業であり、現在アメリカで日本のマンガを輸入翻訳出版している。代表の笹原氏によると、アメリカでの日本マンガ市場は大きく、現在はやおい系のマンガに人気が集まっているようだ。Digital Manga の出版物を購入しているユーザーは、オタクと呼ばれる青年のコアファン層が多く、そのなかのほとんどは、日本へ行きたいと考えている。そのようなファンの要望に応え、日本へのツアーを実施した。

コアファン層の多くは、日本には行きたいが、ただ秋葉原を訪れるだけではなく、歴史的地区や日本人の生活様式など日本のさまざまな文化にも興味をもっている。そこで、Digital Manga では、日系企業の強みを活かし、新橋ガード下の焼き鳥屋での食事や、プロ野球観戦など、通常のツアーでは経験できない観光要素を取り入れたツアーを企画し、ユーザーの人気を集めた。また、コアファン層のなかでも、趣味嗜好が異なるため、やおいやロリータなど、さまざまなテーマのツアーを企画している。いずれのツアーも人気が高く、毎回ほぼ満員の状態となっている。

以下の3つが2007年に予定されている Digital Manga 主催の Pop Japan Travel の概要である。

・ Yaoi Bishonen and Boys Love Tour (2,150 ドル/約 23 万 3,000 円): 8 日間

- 1 日目: ロサンゼルス発
- 2 日目: 東京着
- 3 日目: 浅草、明治神宮、合羽橋、お台場 (日本茶体験)
- 4 日目: 池袋乙女ロード、中野ブロードウェイ (池袋美少年喫茶でのティータイム)
- 5 日目: 秋葉原、原宿、立野真琴氏 (やおい系マンガ家) のスタジオ見学
- 6 日目: 箱根
- 7 日目: 東京フリー
- 8 日目: 成田発 ロサンゼルス着

・ Gothic and Lolita Tour (2,350 ドル/約 25 万 5,000 円) 9 日間

- 1 日目: ロサンゼルス発
- 2 日目: 東京着
- 3 日目: 浅草、明治神宮、合羽橋、お台場 (松本零士デザインのクルーズボートに乗船)
- 4 日目: 原宿 (表参道) 新宿、渋谷、池袋
- 5 日目: ジブリ美術館、中野ブロードウェイ
- 6 日目: 東京フリー (オプションツアーで東京ディズニーランド)
- 7 日目: 大阪 (ロリータカフェでのティータイム)
- 8 日目: 京都
- 9 日目: 成田空港 ロサンゼルス着

・ Ultimate Ninja Tour (2,480 ドル/約 26 万 8,000 円) 9 日間

- 1 日目: ロサンゼルス発
- 2 日目: 東京着
- 3 日目: 浅草、明治神宮、合羽橋、お台場 (忍者レストランでの夕食)
- 4 日目: ジブリ美術館、吉祥寺
- 5 日目: 滋賀県甲賀流忍者屋敷
- 6 日目: 三重県伊賀忍者まつり
- 7 日目: 京都
- 8 日目: 大阪
- 9 日目: 成田空港 ロサンゼルス着

2. Euro Japan Comic の日本観光ツアー

Euro Japan Comic は、西山健二氏がフランス・パリに設立した企業で、フランスを中心とした欧州における日本文化の市場調査やイベントの企画を行っている。日本への観光ツアーは、2004年から1年に1回行っており、リピーターも増え、人気を集めている。コースの概要は以下のとおり。

・2005年春、フランス発日本マンガツアー第4弾（費用は不明）：8日間

- 1日目：パリ出発
- 2日目：成田着
- 3日目：フリー、またはオプションツアー（明治神宮、原宿、渋谷）
- 4日目：フリー、またはオプションツアー（東京都庁、池袋ホビーショップ）
- 5日目：フリー、またはオプションツアー（巣鴨、上野、秋葉原）
- 6日目：フリー、またはオプションツアー（鎌倉）
- 7日目：フリー
- 8日目：成田出発 パリ着

・2005年冬、フランス発日本マンガツアー第3弾（費用は不明）：8日間

- 1日目：パリ出発
- 2日目：成田着
- 3日目：フリー、またはオプションツアー（豊島園）
- 4日目：フリー、またはオプションツアー（明治神宮、原宿）
- 5日目：フリー、またはオプションツアー（鎌倉）
- 6日目：フリー、またはオプションツアー（浅草、秋葉原）
- 7日目：フリー
- 8日目：成田出発 パリ着

・2004年秋、フランス発日本マンガツアー第2弾（費用は不明）：8日間

- 1日目：パリ出発
- 2日目：成田着
- 3日目：フリー、またはオプションツアー（コスプレイベント）
- 4日目：フリー、またはオプションツアー（明治神宮、原宿、渋谷）
- 5日目：フリー、またはオプションツアー（秋葉原、中野）
- 6日目：フリー、またはオプションツアー（鎌倉）
- 7日目：フリー
- 8日目：成田出発 パリ着

・2004年冬、フランス発日本マンガツアー第1弾（費用は不明）：8日間

- 1日目：パリ出発
- 2日目：成田着
- 3日目：フリー、またはオプションツアー（コスプレイベント）
- 4日目：フリー、またはオプションツアー（原宿、渋谷）
- 5日目：フリー、またはオプションツアー（共信印刷見学、浅草）
- 6日目：フリー、またはオプションツアー（パンダイミュージアム、秋葉原）
- 7日目：フリー
- 8日目：成田出発 パリ着

全体として、アニメ・マンガ関連のツアーを実施している企業はあるものの、アニメ・マンガのみならず、その他の観光地と組み合わせている例や、オプションツアーとしてアニメ・マンガ関連施設やイベントを用意している例が見受けられる。